令和六年第一回三月定例会

熊本県芦北町議会会議録

令和 6 年第 1 回

芦北町議会３月定例会会議録

開会　令和 6 年 2 月 29 日

閉会　令和 6 年 3 月 13 日



うたせ船

熊本県芦北町議会

令和６年第１回芦北町議会定例会会期日程

月　日	曜日	日　　程
２・２９	木	本会議（開　会） 諸報告 議長諸般の報告 議員派遣の結果報告 行政報告 令和６年度施政方針と予算大綱説明 議案審議 議案等の委員会付託
３・１	金	委員会審査　総務厚生（総務課、企画財政課、税務課、会計室、議会事務局） 建設経済文教（現地調査、建設課、上下水道課、商工観光課）
２	土	休　日
３	日	休　日
４	月	委員会審査　総務厚生（福祉課、健康増進課、住民生活課） 建設経済文教（教育課、スポーツ・文化振興課、コミュニティセンター課、農林水産課）
５	火	委員会審査（予備日）
６	水	休　会（議事整理）
７	木	休　会（議事整理）
８	金	休　会（議事整理）
９	土	休　日
１０	日	休　日
１１	月	休　会（議事整理）
１２	火	本会議 一般質問
１３	水	本会議（最終日） 議案審議（委員長報告） 議員派遣の件 閉会中の継続調査の申出 （閉　会）

目　　次

第１号（２月29日）　　頁

１　議事日程 …… 3

２　出席議員氏名 …… 6

３　欠席議員氏名 …… 6

４　説明のため出席した者の職氏名 …… 6

５　事務局職員出席者 …… 6

６　開会　開議 …… 10

第１　会議録署名議員の指名 …… 10

第２　会期の決定について …… 10

第３　諸報告 …… 11

議長諸般の報告 …… 11

議員派遣の結果報告 …… 11

行政報告 …… 11

第４　承認第１号　専決処分の承認を求めることについて

令和５年度芦北町一般会計補正予算（第６号） …… 11

第５　議案第１号　令和５年度芦北町一般会計補正予算（第７号） …… 12

第６　議案第２号　令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算

（第３号） …… 15

第７　議案第３号　令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第３号）　16

第８　令和６年度施政方針と予算大綱説明 …… 17

（一括議題＝日程第９から日程第19まで）

第９　議案第４号　令和６年度芦北町一般会計予算 …… 23

第10　議案第５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算 …… 23

第11　議案第６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算 …… 23

第12　議案第７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算 …… 23

第13　議案第８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算 …… 23

第14　議案第９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算 …… 23

第15　議案第10号　令和６年度芦北町水道事業会計予算 …… 23

第16　議案第11号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算 …… 23

第17　議案第12号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制

定について …… 23

第18　議案第13号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について …… 23

第19　議案第14号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について ‥　23
第20　議案第15号　芦北町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　24
第21　議案第16号　芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について ‥　25
第22　議案第17号　芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　26
第23　議案第18号　地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　26
第24　議案第19号　芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　27
第25　議案第20号　芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　28
第26　議案第21号　芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥　29
第27　議案第22号　芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について ‥　30
第28　議案第23号　芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　31
第29　議案第24号　芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　32
第30　議案第25号　芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥　33
第31　議案第26号　芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　33
（一括議題＝日程第32から日程第35まで）
第32　議案第27号　芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　34
第33　議案第28号　芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥　34
第34　議案第29号　芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支

　　　　　　　　　　援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 35
第35　議案第30号　芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 35
第36　議案第31号　芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 38
第37　議案第32号　芦北町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 39
（一括議題＝日程第38から日程第42まで）
第38　議案第33号　芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 39
第39　議案第34号　芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 39
第40　議案第35号　芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 39
第41　議案第36号　芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 39
第42　議案第37号　芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 40
第43　議案第38号　芦北町空家等対策に関する条例の一部を改正する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 43
第44　議案第39号　生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 44
第45　議案第40号　芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 45
第46　議案第41号　芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 46
第47　議案第42号　芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 47
第48　議案第43号　芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について ‥‥‥ 47
第49　議案第44号　芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について ‥‥ 48
第50　議案第45号　芦北町物産館の指定管理者の指定について ‥‥‥‥‥‥‥ 49

第51　議案第46号　芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について ····· 49
第52　議案第47号　芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について ···· 50
第53　議案第48号　芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について ···· 51
第54　議案第49号　古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について ····· 52
第55　同意第１号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて ·· 53
7　散　会 ····· 54

第２号（３月12日）　頁

1　議事日程 ····· 57
2　出席議員氏名 ····· 57
3　欠席議員氏名 ····· 57
4　説明のため出席した者の職氏名 ····· 57
5　事務局職員出席者 ····· 57
6　開会　開議 ····· 62
第１　一般質問 ····· 62
（１）２番　楠原清照君 ····· 62
（２）10番　川尻成美君 ····· 82
（３）４番　林田燿宏君 ····· 91
7　散　会 ····· 99

第３号（３月13日）　頁

1　議事日程 ····· 103
2　出席議員氏名 ····· 103
3　欠席議員氏名 ····· 104
4　説明のため出席した者の職氏名 ····· 104
5　事務局職員出席者 ····· 104
6　開会　開議 ····· 106
（一括議題＝日程第１から日程第11まで）
第１　議案第４号　令和６年度芦北町一般会計予算 ····· 106
第２　議案第５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算 ····· 106
第３　議案第６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算 ····· 106
第４　議案第７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算 ····· 106
第５　議案第８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算 ····· 106

第６　議案第９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算 ……106
第７　議案第10号　令和６年度芦北町水道事業会計予算 ……106
第８　議案第11号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算 ……106
第９　議案第12号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について ……106
第10　議案第13号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について ……106
第11　議案第14号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について ‥106
第12　発議第１号　芦北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について ……119
第13　議員派遣の件 ……120
（一括議題＝日程第14から日程第17まで）
第14　総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出 ……120
第15　建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出 ……120
第16　議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出 ……120
第17　議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出 ……120
７　閉　会 ……121

令和６年第１回芦北町議会定例会議事日程（第１号）

令和６年２月２９日
午前１０時　開　会
於　　議　　場

１　議事日程

開会宣告

第　１　会議録署名議員の指名
第　２　会期の決定について
第　３　諸報告
　　議長諸般の報告
　　議員派遣の結果報告
　　行政報告
第　４　承認第　１号　専決処分の承認を求めることについて
　　令和５年度芦北町一般会計補正予算（第６号）
第　５　議案第　１号　令和５年度芦北町一般会計補正予算（第７号）
第　６　議案第　２号　令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）
第　７　議案第　３号　令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第３号）
第　８　令和６年度施政方針と予算大綱説明
（一括議題＝日程第９から日程第１９まで）
第　９　議案第　４号　令和６年度芦北町一般会計予算
第１０　議案第　５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算
第１１　議案第　６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算
第１２　議案第　７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算
第１３　議案第　８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算
第１４　議案第　９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算
第１５　議案第１０号　令和６年度芦北町水道事業会計予算
第１６　議案第１１号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算
第１７　議案第１２号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について
第１８　議案第１３号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について
第１９　議案第１４号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について
第２０　議案第１５号　芦北町防災会議条例の一部を改正する条例の制定につい

て

第２１　議案第１６号　芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

第２２　議案第１７号　芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第２３　議案第１８号　地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

第２４　議案第１９号　芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について

第２５　議案第２０号　芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

第２６　議案第２１号　芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

第２７　議案第２２号　芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

第２８　議案第２３号　芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第２９　議案第２４号　芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第３０　議案第２５号　芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３１　議案第２６号　芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

（一括議題＝日程第３２から日程第３５まで）

第３２　議案第２７号　芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３３　議案第２８号　芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３４　議案第２９号　芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３５　議案第３０号　芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３６　議案第３１号　芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例の一部を改正する条例の制定について

第３７　議案第３２号　芦北町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について

（一括議題＝日程第３８から日程第４２まで）

第３８　議案第３３号　芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について

第３９　議案第３４号　芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について

第４０　議案第３５号　芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について

第４１　議案第３６号　芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について

第４２　議案第３７号　芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について

第４３　議案第３８号　芦北町空家等対策に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第４４　議案第３９号　生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

第４５　議案第４０号　芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について

第４６　議案第４１号　芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について

第４７　議案第４２号　芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について

第４８　議案第４３号　芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について

第４９　議案第４４号　芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について

第５０　議案第４５号　芦北町物産館の指定管理者の指定について

第５１　議案第４６号　芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について

第５２　議案第４７号　芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について

第５３　議案第４８号　芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について
第５４　議案第４９号　古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について
第５５　同意第　１号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
（散　会）

２　出席議員（１３人）

１番　百　田　翔　吾　君	２番　楠　原　清　照　君
３番　長　口　　隆　君	４番　林　田　燿　宏　君
５番　坂　本　　登　君	６番　寺　本　順　一　君
７番　白　坂　康　浩　君	８番　草　野　安　道　君
９番　宮　尾　秀　行　君	10番　川　尻　成　美　君
11番　寺　本　修　一　君	13番　元　山　秀　志　君
14番　宮　内　道　則　君	

３　欠席議員（１人）
12番　岡　部　惠美子　君

４　説明のため出席した者の職氏名（１７人）

町　　長	竹　﨑　一　成　君	副　町　長	藤　崎　正　司　君
教　育　長	岩　田　繁　義　君	総務課長	松　本　俊　造　君
企画財政課長	白　坂　達　也　君	税務課長	佐　竹　貴　幸　君
住民生活課長	長　﨑　十三男　君	福祉課長	池　田　康　浩　君
健康増進課長	田　中　公　広　君	農林水産課長	栫　　浩　之　君
商工観光課長	釜　　辰　信　君	建設課長	鎌　倉　博　之　君
上下水道課長	平　田　秀　臣　君	教育課長	田　代　　忍　君
ｽﾎﾟｰﾂ・文化振興課長	岡　田　謙　治　君	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ課長	上　野　孝　司　君
会計管理者兼会計室長	溝　俣　圭　一　君		

５　職務のため出席した事務局職員の職氏名（２人）

議会事務局長	窪　田　和　彦　君	次　長(主幹)	鎌　田　富士夫　君

議長諸般の報告

１　例月現金出納検査結果報告書（別紙のとおり）

２　芦北町議会議員研修

期　日　令和５年１２月１９日（火）～１２月２１日（木）

場　所　岡山県奈義町、鳥取県倉吉市

内　容　少子化対策等に関する先進地の事例等について調査　外

３　水俣芦北広域行政事務組合議会定例会

期　日　令和５年１２月２５日（月）

場　所　水俣芦北広域行政事務組合

内　容　令和４年度水俣芦北広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算認定について　外

４　芦北町農業振興地域整備促進協議会

期　日　令和６年１月１５日（月）

場　所　芦北町役場３階大会議室

内　容　芦北町農業振興地域全体見直し（除外）について

５　熊本県町村議会議長会議員研修（オンライン）

期　日　令和６年１月２３日（火）

場　所　芦北町役場　議員控室

演　題　「地方議員のための役所を動かす質問の仕方」

講　師　元広島県廿日市市副市長・地方議員研修講師　川本　達志　氏

６　熊本県町村議会議長会第７４回定期総会

期　日　令和６年２月２２日（水）

場　所　ホテル熊本テルサ

内　容　令和６年度事業計画及び歳入歳出予算について　外

令和６年２月２９日

芦北町議会議長　　宮　内　道　則

芦町監第２６号
令和６年２月９日

芦北町議会議長　宮　内　道　則　様

芦北町監査委員　井　川　良　一

芦北町監査委員　長　口　　隆

例月現金出納検査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第２３５条の２第１項の規定により例月現金出納検査を実施したので、同条第３項の規定により、その結果に関する報告を下記のとおり提出します。

記

１　検査の対象
会計管理者の権限に属する現金（歳計現金、一時借入金及び基金並びに歳入歳出外現金）の出納及び保管

２　検査現在期日
令和６年１月３１日

３　検査実施日
令和６年２月９日

４　検査の結果及び意見
検査現在期日における歳計現金及び基金並びに歳入歳出外現金（一時借入金なし）の保管状況は、預金通帳、保管現金及び現金保管状況一覧表と照合した結果すべて符合し相違ないこと及び適正に処理されていることを確認した。
また、出納事務については、現金出納にかかる証拠書類及び関係帳表と照合、検査の結果、計数に誤りはなく何ら不正非違の点も見受けられず、すべて適正に処理されていることを認めた。
なお、参考まで検査現在期日における現金の現在高は、次のとおりである。

一般会計・特別会計	歳　計　現　金	1,129,586,449　円
	一　時　借　入　金	0　円
	基金に関する現金	5,202,352,218　円
	歳入歳出外現金	145,555,989　円
	計	6,477,494,656　円
水　道　事　業　会　計		396,446,705　円

議員派遣の結果報告

１　議員研修

（１）目　　的　地方公共団体の事務に関する調査のため

（２）派遣場所　岡山県奈義町・鳥取県倉吉市

（３）期　　間　令和５年１２月１９日（火）～２１日（木）

（４）派遣議員　１０人

（５）内　　容　少子化対策等に関する先進地の事例等について調査等

２　議会広報委員会視察研修

（１）目　　的　議会広報の活性化に資するため

（２）期　　間　令和６年２月１３日（火）～１４日（水）

（３）場　　所　福岡県大刀洗町

（４）派遣議員　６人

（５）内　　容　議会だよりの作成について等

令和６年２月２９日

芦北町議会議長　　宮　内　道　則

開会　午前１０時００分

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　おはようございます。

ただいまから令和６年第１回芦北町議会定例会を開会します。

岡部君から欠席届が出ております。

会議に先立ちまして、このたびの令和６年能登半島地震で犠牲になられました皆様に対し黙とうを捧げたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

御起立ください。黙とう。

［黙とう］

○議長（宮内道則君）　ありがとうございました。

御着席ください。

次に、全国町村議会議長会から議員在職１５年以上の表彰状が届いておりますので、伝達を行います。

今回の受賞者は、私宮内でございますので、表彰状の伝達を元山副議長からお願いします。

○副議長（元山秀志君）

［表彰状の伝達］

○議長（宮内道則君）　ありがとうございました。

以上で、表彰状の伝達を終わります。

これより本日の会議を開きます。

お手元に配付の議事日程に従って会議を進めてまいります。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第１　会議録署名議員の指名

○議長（宮内道則君）　日程第１「会議録署名議員の指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第１２５条の規定により、６番　寺本順一君及び７番　白坂君の２人を指名します。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第２　会期の決定について

○議長（宮内道則君）　日程第２「会期の決定について」を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、議会運営委員会からの答申に基づき、本日から３月１３日までの１４日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から３月１３日までの１４日間に決定しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第３　諸報告

○議長（宮内道則君）　日程第３「諸報告」を行います。

例月現金出納検査結果、議長諸般の報告、議員派遣の結果報告及び町長の行政報告の内容は、お手元に配付のとおりです。

以上で、諸報告を終わります。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４　承認第１号　専決処分の承認を求めることについて
令和５年度芦北町一般会計補正予算（第６号）

○議長（宮内道則君）　日程第４、承認第１号「専決処分の承認を求めることについて、令和５年度芦北町一般会計補正予算（第６号）」を議題とします。

本案について、説明を求めます。白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　承認第１号、専決処分の承認を求めることについて、御説明申し上げます。

令和５年度芦北町一般会計補正予算（第６号）を地方自治法第１７９条第１項の規定により、１月２３日に専決処分いたしましたので、同条第３項の規定によりこれを報告し、議会の承認を求めるものでございます。

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ７，２１５万７，０００円を追加し、総額を１４７億８，５５０万９，０００円とするものでございます。

歳出から御説明申し上げます。予算書は７ページをお願いいたします。

款３民生費です。社会福祉総務費の６，８２０万７，０００円は、物価高騰支援として均等割のみ課税世帯に対し、１世帯１０万円を支給する物価高騰重点支援給付金、均等割のみ５８０世帯分と、非課税均等割のみ課税子育て世帯に対し、１８歳以下の子ども１人当たり５万円を加算支給する子育て世帯加算１１０人分及び関連事務費等です。

款８消防費です。災害対策費の３９５万円は、令和６年能登半島地震における人的支援を行うための職員派遣に係る時間外手当及び特別旅費です。

次に、歳入について御説明申し上げます。予算書は６ページをお願いいたします。

款１０地方交付税の３９５万円は、能登半島地震における人的支援のために派遣する職員の特別旅費等に係るものです。

款１４国庫支出金の総務費国庫補助金の６，８２０万７，０００円は、物価高騰対応重点支援給付金等に充当するものです。

なお、８ページから１０ページに給与費明細書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから承認第１号を採決します。お諮りします。本案を承認することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、承認第１号は承認することに決定しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第５　議案第１号　令和５年度芦北町一般会計補正予算（第７号）

○議長（宮内道則君）　日程第５、議案第１号「令和５年度芦北町一般会計補正予算（第７号）」を議題とします。

本案について、説明を求めます。白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　議案第１号、令和５年度芦北町一般会計補正予算（第７号）について、御説明申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ７，３０６万９，０００円を追加し、総額を１４８億５，８５７万８，０００円とするものでございます。

また、第２条で繰越明許費、第３条で債務負担行為、第４条で地方債の補正を計上しております。

歳出から御説明申し上げます。予算書は１２ページをお願いいたします。

款２総務費です。財産管理費の４，７０４万２，０００円は、県の熊本地震復興基金の一括交付に伴い積み立てるまちづくり振興基金積立金及び災害義援金の配分額確定に伴い積み立てる災害復興基金積立金です。

豪雨災害対策総務費の３４万５，０００円は、中長期派遣職員に係る災害派遣手当及び中長期派遣職員住宅借上料です。

賦課徴収費の１８４万８，０００円は、令和６年度定額減税に対応するためのシステム改修委託料です。

戸籍住民基本台帳費の２４８万６，０００円は、住民基本台帳システムの振り仮名を戸籍附票システムと連携するためのシステム改修委託料です。

款３民生費です。障害者福祉費の１，３８６万５，０００円は、自立支援給付費等

扶助費の実績見込みに伴う増額です。

高齢者福祉費の６５１万８，０００円は、老人保護措置委託料の実績見込みに伴う増額及び社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減対策に係る助成金です。

予算書は１３ページをお願いいたします。

児童福祉総務費の３３１万３，０００円は、子ども医療費の実績見込みに伴う増額です。

豪雨災害救助費の５７万６，０００円は、仮設住宅経費に係る災害救助費負担金が確定したことによる償還金です。

款４衛生費です。生活排水対策事業費の４８９万４，０００円は、農業集落排水事業特別会計への繰出金です。

款５農林水産業費です。中山間地域総合整備事業費の１９万４，０００円は、中山間地域農地集積促進事業に係る補助金です。

款７土木費です。海岸保全費の５０万円は、県が実施する海岸保全事業の事業費確定に伴うものです。

港湾管理費の７５０万円の減額は、県が実施する港湾整備の事業費確定に伴うものです。

予算書は１４ページをお願いいたします。

住宅建設費の８１９万円は、地域優良賃貸住宅建設工事の資材単価高騰に伴うものです。

款９教育費です。保健体育総務費の３３万円は、スポーツ振興事業補助金の実績見込みに伴う増額です。

款１１公債費です。元金の１８０万８，０００円は、利率確定に伴う長期債元金及び一括償還に伴う災害援護資金貸付金の補正です。利子の１，１３４万円の減額は、長期債利子の利率確定に伴うものです。

次に、歳入について御説明申し上げます。予算書は１０ページをお願いいたします。

款１４国庫支出金です。民生費国庫負担金の６９３万２，０００円は、障害者自立支援給付費等に係る負担金です。

総務費国庫補助金の３９１万７，０００円は、戸籍附票システム改修に伴う補助金です。

土木費国庫補助金の１，５７０万円の減額は、地域優良賃貸住宅建設に係る交付金の内示額によるものです。

款１５県支出金です。民生費県負担金の３４６万６，０００円は、障害者自立支

援給付費等に係る負担金です。

総務費県補助金の３，９６４万６，０００円は、熊本地震復興基金の交付金です。

農林水産業費県補助金の９万６，０００円は、中山間地域総合整備事業に係るものです。

款１７寄附金です。寄附金の７３９万６，０００円は、災害義援金の配分額確定に伴うものです。

款１９繰越金は、最後に説明をいたします。

予算書は１１ページになります。

款２０諸収入です。雑入の５５８万４，０００円は、県の災害関連急傾斜地崩壊対策事業費が確定したことによる負担金返還金及び令和４年台風１４号が災害救助法のおそれ適用となったことによる災害救助費負担金です。

款２１町債です。農林水産業費債の５４０万円は、中山間地域総合整備事業に充当するものです。

土木債の７００万円は、排水施設整備事業、港湾整備事業及び公営住宅整備事業の事業費確定などによるものです。

最後に、款１９繰越金です。歳入歳出不足額９３３万２，０００円に対し、前年度繰越金を充当するものです。

予算書は４ページになります。

第２表繰越明許費について、御説明申し上げます。

款２総務費の芦北町役場非常用発電設備設置事業から款１０災害復旧費の公共土木施設災害復旧事業までの２１事業、合計２３億９，４２５万円は、年度内完了が困難であるため翌年度に繰り越すものです。

予算書は５ページになります。

第３表債務負担行為補正について、御説明申し上げます。

薩摩街道佐敷宿交流館運営委託料から古石地区生涯学習センター運営委託料までの６件、合計２億８，３５９万２，０００円を追加するものです。

予算書は６ページになります。

第４表地方債補正について、御説明を申し上げます。

農業振興事業は５，３１０万円に、排水施設整備事業は全て減額、港湾整備事業は６００万円に、公営住宅整備事業は５億３，８９０万円に補正をするものです。利率や償還方法等については、表に記載のとおりです。

１５ページに債務負担行為の当該年度以降の支出予定額等に関する調書を、１６ページに地方債の現在高の見込額に関する調書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第６　議案第２号　令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）

○議長（宮内道則君）　日程第６、議案第２号「令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２号、令和５年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）について、御説明いたします。

予算の総額に歳入歳出それぞれ２１０万円を追加し、総額を２４億７，８１１万４，０００円とするものでございます。

補正の内容につきまして、予算書をもとに歳出から御説明いたします。予算書は７ページになります。

款２保険給付費です。高額介護サービス費の２１０万円は、実績見込みの増や介護報酬改定などに伴います補正でございます。

次に、歳入につきましては６ページになります。

款８繰越金です。前年度繰越金２１０万円を補正財源とするものでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第７　議案第３号　令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第３号）

○議長（宮内道則君）　日程第７、議案第３号「令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第３号）」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第３号、令和５年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第３号）について、御説明いたします。

今回の補正は、債務負担行為の設定のみとなっており、予算総額の増額は伴わない補正予算となっております。

予算書は４ページになります。

大野温泉センター及び吉尾温泉公衆浴場の運営委託料につきまして、３年間の債務負担行為を設定するものです。

なお、予算書５ページに債務負担行為で、当該年度以降の支出予定額等に関する調書を添付しております。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第８　令和６年度施政方針と予算大綱説明

○議長（宮内道則君）　日程第８「令和６年度施政方針と予算大綱説明」を求めます。

竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　おはようございます。

本日、令和６年第１回芦北町議会定例会の招集を申し上げましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中御出席を賜り、誠にありがとうございます。

令和６年度施政方針と予算大綱について、御説明申し上げます。

はじめに、元日に発生した令和６年能登半島地震で犠牲となられた方々に心からお悔やみ申し上げます。また、被害に見舞われ、今なお厳しい生活を余儀なくされた被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

今回の地震は、熊本地震を上回る甚大な被害となっており、本町においては、既に町民からの募金を義援金として石川県へ送付、輪島市へ職員の派遣などを行っており、今後も県と連携して、できる限りの支援をしてまいります。

未曽有の災害から３年８か月が過ぎ、復旧・復興において、災害公営住宅２か所が完成し、被災者の生活再建や道路・河川等の災害復旧も進み、また各種イベントも開催され、発災前の生活に戻りつつあります。今後も、国の動向を注視し、復旧・復興を第一に、町民生活に資する必要な対策については、躊躇なく実施してまいります。

それでは、予算編成、規模について申し上げます。

令和６年度の一般会計予算総額は、１２５億３，０００万円となっており、昨年と比較すると１３億５，０００万円の減となりました。

歳出については、災害復旧費に９億２，３６８万７，０００円、扶助費に１７億４，６０３万円、公債費には１１億８，７２７万７，０００円を計上しております。

歳入については、令和２年７月豪雨災害の影響から緩やかな回復傾向を見込んでいましたが、個人住民税の定額減税や固定資産税の償却資産の減などにより、町税については、前年度比９，０５１万４，０００円減となる１９億９，４３５万円を計上しました。国県支出金に２５億１，９５０万５，０００円、地方交付税には３７億円を計上しております。

以下、主な施策について、復旧・復興計画の内容も踏まえ説明いたします。

第１は、地域活力と雇用を生み出す産業づくりについてであります。

農地、農業用施設の復旧につきましては、関連する河川災害等の進捗状況を確認しながら、復旧完了に向けて取り組んでまいります。また、広域的に被害を受けた吉尾地区等の基盤整備については、事業採択に向け進捗を図ってまいります。

農業振興につきましては、耕作支援を引き続き実施し、人材の確保と育成に努め

てまいります。

果樹振興については、園内道整備や優良品種の苗木導入などに対する支援を継続するとともに、優良園地の確保や機械導入による省力化・生産物の高品質化を図ってまいります。また、新たな作物の栽培や加工等を含めた実証を進めてまいります。

有害鳥獣対策につきましては、有害鳥獣被害防止対策協議会と連携し、被害防除、捕獲、環境整備を中心とした総合的な対策を推進してまいります。

林業振興につきましては、間伐や搬出作業の支援に加え、皆伐後の植栽や防護柵設置への支援を継続するとともに、大型機械による大規模施業と自伐林家による小規模施業の多様な森林経営による持続可能な森林整備を推進してまいります。

漁業振興につきましては、漁船保険料や船揚げ施設の利用への助成を行うとともに、ヒラメやクマエビなどの稚魚放流事業による漁獲の増加や、アサリ、マガキなどの安定生産への支援を行い、漁業者の所得向上を図ってまいります。また、藻場の再生を支援し、海底耕耘を継続することで、漁場の環境改善・保全を進めてまいります。

商工業振興につきましては、商工会が主体となって開催するイベントなどの賑わい創出の支援や、引き続きプレミアム付商品券の発行補助金の措置を行い、商工業の育成・強化と地域経済の活性化を促進します。また、商工業経営者の高齢化が進んでいるため、事業承継のニーズ調査を行い、商工業の事業継続を支援してまいります。

企業誘致につきましては、引き続き廃校舎をはじめとする遊休施設の活用を進めるとともに、関係人口の増加につながる施策の展開を通して、多種多様な企業の進出を図ってまいります。

サテライトオフィスに進出したＩＴ企業への雇用促進のため、地域活性化起業人や地域おこし協力隊を活用し、ＩＴ人材の育成を進めるとともに、商工会や進出企業と連携してビジネスフェアを開催し、人材の確保及び企業間のビジネスマッチングや中小企業におけるデータ活用やデジタル技術の活用に関する相談体制を整え、地域のＤＸを推進してまいります。

観光振興につきましては、町の観光ＰＲ等に引き続き取り組むとともに、新たな芦北町の魅力発見・魅力向上に取り組んでまいります。また、御立岬温泉塩をはじめとした地域資源を活かした町外での芦北フェア開催等を通して、町内食材のＰＲと販路拡大を図ってまいります。観光イベントも引き続き開催し、交流人口の増加を図ってまいります。

観光施設につきましては、御立岬公園マリンハウス等の計画的な補修や芦北町物産館の老朽化対策を行うとともに、芦北海浜総合公園の施設維持補修計画の見直し

を行うなど適正な管理運営に努め、観光施設の魅力や利用環境の向上に努めてまいります。

あしきたマリンパークビーチ一帯の再整備につきましては、旧国民年金保養センターの解体跡地の整備を行い、積極的に観光系企業の誘致を行ってまいります。

ふるさと応援寄附金事業につきましては、地方創生と災害からの復旧・復興のための財源確保策として、町内事業者と連携し返礼品の充実を図るとともに、企業版ふるさと納税につきましても、本町の地方創生の取組について、積極的に企業へ周知し、御支援いただけるよう取り組んでまいります。

第２に、地域で守り育てるまちづくりについてであります。

被災者の生活再建支援につきましては、発災時最大１，１７５人の避難者が、令和６年度中に全て生活再建できるよう、最後の１件まで住まいの再建に向けた支援を引き続き行います。また、生活再建に伴い女島ゆめもやい緑地仮設団地及び地域支え合いセンターを閉鎖しますが、被災者の孤立防止や健康状態の把握など、心のケアも継続して努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう支援してまいります。また、災害時における避難行動要支援者の支援及びひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置の貸与を行い、緊急時の迅速な対応に努めてまいります。

障害者福祉につきましては、障害のある方の心身の状況やニーズに配慮した福祉サービスの提供に努めるとともに、各種事業を通じ、障害に対する理解の促進及び社会参加への機運醸成を図ってまいります。

地域福祉につきましては、社会福祉協議会や民生委員児童委員と連携し、取組を推進してまいります。

児童福祉につきましては、子育て世帯の多様化するニーズに対応するため、保育サービスの向上や子ども医療費及び副食費の助成に加え、令和６年度から保育料の完全無償化を実施することで、子育てに伴う経済的負担の更なる軽減に取り組み、児童の安全・安心な保育環境の確保に努めてまいります。

健康づくり事業につきましては、生涯現役・健康寿命の延伸に向け、第４期健康づくり推進計画に基づき、ライフステージに合わせた取組を引き続き推進してまいります。また、生活習慣病やがんの早期発見・早期治療及び感染症の予防を目的に、健診や予防接種に対する助成を充実してまいります。

第３に、郷土の未来を育む人づくりについてであります。

学校教育につきましては、ＩＣＴ機器等を効果的に活用しながら、基礎・基本の習得による学力の向上を図るとともに、不登校対策として子ども自立支援室を拡充し、誰一人取り残さない学びの保障に努めます。また、多様化する学校現場の課題

解決のため、学校運営協議会の更なる充実を図り、地域ぐるみで教育の実現を進めてまいります。

学習環境につきましては、学校施設の適切な維持管理を計画的に行い、整備・充実を図ります。

学校給食につきましては、安全・安心で栄養バランスと量を保った給食を提供するとともに、学校給食費完全無償化を引き続き実施し、子育てしやすい教育環境を整えてまいります。

スポーツ振興につきましては、社会体育クラブや総合型地域スポーツクラブ等の支援を行うとともに、引き続き全国大会等の出場者を支援し、競技力の向上と生涯スポーツの振興を図ってまいります。

体育施設につきましては、安全で安心して利用できるよう、引き続き適正な維持管理に努めるとともに、湯浦運動公園の照明をＬＥＤへ更新します。

生涯学習の推進につきましては、町民講座や生き生き大学などの講座の充実を図ってまいります。また、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちを育む地域学校協働活動を推進してまいります。

文化振興につきましては、演能会や文化祭などの開催により、文化・芸術に触れる機会を提供し、文化意識の高揚を図るとともに、全国大会等の出場者を支援し、文化活動の振興を図ってまいります。

文化財の保存・調査につきましては、佐敷城跡周辺の環境整備を引き続き図るとともに、佐敷東の城跡の史料調査に取り組んでまいります。

総合コミュニティセンターにつきましては、世代間・地域間の交流と学びの場として、人々が集い豊かな心の人づくりの場となるよう、図書館や子どもの広場、各種講座の開催など、施設全体の魅力向上と、安全・安心で快適な利用環境の提供に努めてまいります。

星野富弘美術館につきましては、引き続き展覧会や公募展をはじめ、出前講座等を開催するとともに、姉妹館である群馬県の富弘美術館と連携を図りながら情報発信に努め、詩画を通じた心の教育を推進してまいります。

国際交流につきましては、国際交流協会と連携し、多文化共生事業に取り組んでまいります。

第４に、暮らしを支える基盤づくりについてであります。

交通基盤の整備につきましては、被災した道路・河川の復旧の早期完了を最優先として取り組んでまいります。災害復旧工事等で発生する土砂は、残土処理場で引き続き受け入れを行い、工事の円滑な推進に努めるとともに、適正な管理を行い、土地の有効活用に向けて取り組んでまいります。

橋りょうにつきましては、長寿命化修繕計画に基づき老朽化対策を進めるとともに、町道についても計画的な舗装、維持修繕、改良等を行い、安全確保に努めてまいります。また、八代及び水俣・芦北地域サイクルツーリズムの推進に伴う自転車走行空間整備事業として、指定されたルートの安全な走行環境の整備を図ってまいります。

自然災害対策につきましては、各排水機場の定期的な保守点検を行い、計画的な補修を実施し、安全で安心な生活環境の整備に取り組んでまいります。

県営事業につきましては、急傾斜対策、改良工事等に係る負担金を措置し、芦北坂本線等に係る未改良区間については、早期実施を要望してまいります。

公営住宅につきましては、安全で快適な居住環境の維持のため計画的な補修・更新等を実施してまいります。

住まいの浸水対策につきましては、自らの生命と財産を守るため、嵩上げ等の自助対策を講じ、町内で再建された方に対して支援を行います。

また、豪雨災害により空き地となった土地等の活用を推進するため、賃貸住宅の建設に対する支援を行ってまいります。

交通対策につきましては、鉄道事業者やバス事業者による地域間交通の路線維持と、町民に親しまれる持続可能な地域内交通の充実を目指します。

消防・防災対策につきましては、消防団員の処遇改善を図るため、年額報酬を見直すとともに、鶴木山地区に新たに消火栓を設置します。

逃げ遅れゼロを目指す取組として、引き続き地域防災力強化支援事業補助金や防災士育成事業補助金を措置し、地域防災力の向上を図ります。また、情報伝達手段の機能強化のため、防災行政無線の更新や防災拠点センター整備の基本設計を行い防災体制の強化を図ってまいります。

水供給対策につきましては、水道区域外の地域に対して、安全・安心な生活用水の確保に取り組んでまいります。また、生活排水対策につきましては、引き続き浄化槽設置に対する支援を行ってまいります。

環境対策につきましては、ペットボトルの水平リサイクルへの取組による二酸化炭素排出抑制等、環境負荷の軽減に努めるとともに、家庭ごみの発生抑制や再利用、再資源化を推進し、ごみの減量化に取り組みます。

水俣病関連につきましては、各種相談に対応するため相談窓口を継続して設置するとともに、情報発信支援事業、もやい直し事業、地域再生事業に引き続き取り組んでまいります。

第５に、住民と行政の協働のまちづくりについてであります。

まちづくり支援事業については、今後も引き続き地域の自主的な活動を支援しま

す。また、芦北高校総合支援事業につきましては、芦北高校と連携を図りながら、全国から入学者募集を行うとともに、更なる魅力向上に資する取組を進めてまいります。

地域おこし協力隊につきましては、現在の隊員４名に加え、新たに１０名の隊員を募集し、様々な地域協力活動に取り組み、地域の活性化を図るとともに、町への定住に向けた支援を行ってまいります。

移住・定住の促進につきましては、移住体験住宅の利用促進に努めるとともに、移住定住特設サイト「よしきた！」での情報発信の強化と、庁内連携体制の構築を図ってまいります。

公共施設の計画的な整備等の推進につきましては、第２期公共施設等総合管理計画を策定し、町有施設の予防保全を推進してまいります。

共生社会の推進につきましては、新たに、犯罪被害者の生活等を総合的に支援するための基本条例を制定してまいります。

町の情報発信につきましては、広報あしきた、まちだより、ホームページ、ＳＮＳを活用した情報提供に努めてまいります。

自治体ＤＸの推進につきましては、機器の整備や人材育成を行い、デジタルを活用した行政サービスの向上と事務効率化に取り組んでまいります。

次に、特別会計について申し上げます。

国民健康保険事業につきましては、各種健康づくり推進事業を実施するとともに、１８歳以下の子どもに係る均等割額を引き続き全額減免するとともに、資産割を廃止し、課税方式の見直しを行います。

介護保険事業につきましては、介護予防・日常生活支援総合事業の充実、地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、介護・医療の支援を必要とする高齢者が安心して暮らせるよう努めてまいります。

町有温泉事業につきましては、原油価格高騰などを考慮し、入浴料の見直しを行うことで持続可能な運営を行うとともに、適正な維持管理と入浴環境の向上に努めてまいります。

また、大野温泉センターにおいては、地域おこし協力隊を活用し、施設の魅力向上と賑わいの創造による観光客の増加に取り組んでまいります。

奨学資金貸付事業につきましては、向学心に富み有能な資質を有し、経済的な理由での就学困難者に対し、貸付を行ってまいります。

後期高齢者医療事業につきましては、健康診査委託事業や人間ドック健診補助を実施し、町民の健康保持・増進を図るとともに、疾病の早期発見と重症化の防止に努めてまいります。

公営企業会計である水道事業につきましては、安全・安心な水道水供給のため、引き続き老朽化した水道管や施設の更新を計画的に実施し、安定経営に努めてまいります。

農業集落排水事業及び生活排水処理事業につきましては、令和６年度から公営企業会計へ移行しますが、引き続き施設の長寿命化と適正な維持管理に努め、持続可能な運営に取り組んでまいります。

以上、一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた令和６年度の予算総額は、１９２億９，５００万円となっております。

結びに、町の将来像を「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できる町」として作成しました第２次芦北町総合計画の最終年度となります。

人口減少や物価高騰などが住民生活や地域経済に様々な影響を及ぼす中で、コロナ禍を乗り越え、町民が暮らしやすい芦北町を築くべく、努力してまいります。

議会並びに町民の皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

○議長（宮内道則君）　町長の説明が終わりました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第　９　議案第　４号　令和６年度芦北町一般会計予算
第１０　議案第　５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算
第１１　議案第　６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算
第１２　議案第　７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算
第１３　議案第　８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算
第１４　議案第　９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算
第１５　議案第１０号　令和６年度芦北町水道事業会計予算
第１６　議案第１１号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算
第１７　議案第１２号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について
第１８　議案第１３号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について
第１９　議案第１４号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第９、議案第４号「令和６年度芦北町一般会計予算」から日程第１９、議案第１４号「芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について」は、議会運営委員会の答申に基づき、会議規則第３６条の規定により一括議題とします。

ただいま一括議題としました議案につきましては、先ほどの日程第８「令和６年度施政方針と予算大綱説明」で町長の説明もあり、また先の議会運営委員会において委員会付託とする旨の答申があっておりますので、会議規則第３８条第２項の規

定により、提案理由の説明を省略したいと思います。御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、一括議題の議案は、提案理由の説明を省略することに決定しました。

これから一括議題の質疑を行います。先の議会運営委員会において、委員会付託の答申があっておりますので、質疑はあくまで総括的かつ大綱にとどめるよう求めます。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第４号から議案第１４号までは、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託したいと思います。御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託することに決定しました。

各常任委員会におかれましては、慎重な審査をされ、その結果を最終日の本会議において各常任委員長から報告を願います。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２０　議案第１５号　芦北町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２０、議案第１５号「芦北町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　議案第１５号、芦北町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、芦北町防災会議の委員について、災害時に連携が必要と考えられる関係機関の増加及び女性委員の増員を図り、多様な視点から地域防災計画及び防災に関する重要事項を審議するため、委員の定数を現在の３５人以内から４５人以内に改正をするものです。

附則として、この条例は公布の日からに施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１５号を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１５号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－－

第２１　議案第１６号　芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２１、議案第１６号「芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　議案第１６号、芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、芦北町消防団の定員及び報酬を改正するもので、消防団の定員を現在の団員数やこれまでの推移を踏まえ、５６０人から５２０人に改正するとともに、団員の処遇改善のため、年額報酬を基本団員階級で８，０００円、その他の階級につきましても、併せて引き上げを行うものです。

附則として、この条例は令和６年４月１日から施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１６号を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１６号は原案のとお

り可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２２　議案第１７号　芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２２、議案第１７号「芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　議案第１７号、芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、国の公職選挙法施行令の一部改正に伴い、議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担の改正を行うもので、第４条で選挙運動用自動車の借入単価の日額を１万６，１００円に、燃料供給の日額を７，７００円に改めるものです。

また、第８条でビラ１枚当たり単価を７円７３銭に、第１１条でポスター１枚当たりの印刷費を５４１円３１銭と、３１万６，２５０円に改めるものです。

附則として、この条例は令和６年４月１日から施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１７号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１７号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２３　議案第１８号　地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整

理に関する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２３、議案第１８号「地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　議案第１８号、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、地方自治法の一部改正に伴い、関係する条例を一括して改正するもので、第１条で会計年度任用職員の給与の種類に勤勉手当を加え、第２条で育児休業をしている会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給できるよう改正をし、第３条及び第４条で芦北町監査委員に関する条例及び芦北町水道事業の設置に関する条例に係る条ずれの修正を行うものです。

附則として、この条例は令和６年４月１日から施行するものです。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１８号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１８号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２４　議案第１９号　芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２４、議案第１９号「芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　議案第１９号、芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、令和２年７月豪雨により、吉尾の移住体験住宅が被災し、使用不能となっておることから、可能な住宅を移住体験住宅として利用するため、今回改正を行うものでございます。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行することとし、併せて芦北町一般住宅等使用料条例から田浦住宅の項を削除することとしております。

提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１９号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１９号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第２５　議案第２０号　芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２５、議案第２０号「芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。佐竹税務課長。

○税務課長（佐竹貴幸君）　議案第２０号、芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、令和１２年度を目標に県が進める保険料水準の統一に向け、課税方式の見直しを行う必要があることから、芦北町国民健康保険税条例の改正を行うものです。

主な内容といたしましては、国民健康保険税の課税に係る全ての算定区分から資産割を廃止いたします。

また、介護納付金課税分の平等割につきましても、県の運営方針に基づき、廃止することといたしとます。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行いたします。

なお、提案理由は記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２０号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２０号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第２６　議案第２１号　芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２６、議案第２１号「芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。長﨑住民生活課長。

○住民生活課長（長﨑十三男君）　議案第２１号、芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、住民の利便性向上のため、マイナンバーカードを使用されている方がスマートフォンを利用し、コンビニ交付サービスを開始するために条例の改正を行うものです。

改正内容は、移動端末設備を利用し、コンビニ等に設置されている多機能端末機で印鑑証明書の発行を可能とするものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行します。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２１号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２７　議案第２２号　芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２７、議案第２２号「芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。長﨑住民生活課長。

○住民生活課長（長﨑十三男君）　議案第２２号、芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令の公布による戸籍法の一部改正に伴い、条例を改正するものです。

改正内容は、手数料を徴収すべき事項及び金額に、新たに戸籍及び除籍の電子証明書提供用識別符号を追加します。また、同時に既存事項を分かりやすい表記に修正するなど、所要の改正を行います。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行し、改正後の芦北町手数料条例の規定は令和６年３月１日から適用します。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２２号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２２号は原案のとおり可決しました。

ここで、しばらく休憩をいたします。１１時１５分から会議を再開しますので、よろしくお願いいたします。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

休憩　午前１１時０１分

再開　午前１１時１５分

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　それでは、休憩前に引き続きまして、会議を開きます。

なお、議案審議につきましては、正午を過ぎましても継続して最後まで行いますので、御了承いただきたいと思います。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第２８　議案第２３号　芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２８、議案第２３号「芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２３号、芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の内容は、法改正による項ずれに伴う改正を行うものでございます。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行することとしております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２３号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２３号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第２９　議案第２４号　芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第２９、議案第２４号「芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２４号、芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、介護保険法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の内容は、保険料標準段階を現行の９段階から１３段階に改正し、国の標準乗率の改正に伴い、低所得層である第１段階から第３段階までの標準乗率の引き下げ、第１０段階から第１３段階の高所得者での標準乗率の引き上げにより保険料を改定し、定めるものでございます。

第２条において、令和６年度から令和８年度における保険料を規定しております。

なお、介護保険料基準額につきましては、現行据置きでございます。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行するとし、令和５年度以前については従前の例によるものとしております。

提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２４号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２４号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第３０　議案第２５号　芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３０、議案第２５号「芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２５号、芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の内容は、保育所保育指針の制定権限が内閣総理大臣に移ったことに伴う改正を行うものです。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行することとしております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２５号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２５号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第３１　議案第２６号　芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３１、議案第２６号「芦北町特定教育・保育施設及び特

定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２６号、芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の内容は、基準の改正による用語の整理や条項ずれに伴う改正を行うものでございます。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行することとしております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２６号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２６号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第３２　議案第２７号　芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３３　議案第２８号　芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３４　議案第２９号　芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第３５　議案第３０号　芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３２、議案第２７号「芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」から日程第３５、議案第３０号「芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について」までを、議会運営委員会の答申に基づき、会議規則第３６条の規定により一括議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第２７号、芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の主な内容は、重要事項の掲示に係るウェブサイト掲載の義務づけ、身体拘束等の適正化に関する措置の強化、協力医療機関との連携強化などの項目において改正するものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行し、第３４条第３項の改正規定は令和７年４月１日からの施行としております。また、身体拘束等の適正化に関する項目等には経過措置を設けております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

次に、議案第２８号、芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の主な内容は、重要事項の掲示に係るウェブサイト掲載の義務づけ、身体拘束等の適正化に関する措置の強化、協力医療機関との連携強化などの項目において

改正するものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行し、第３２条第３項の改正規定は令和７年４月１日からの施行としております。また、身体拘束等の適正化に関する項目等には経過措置を設けております。

提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

次に、議案第２９号、芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の主な内容は、従業員等の人員基準の見直し、重要事項の掲示に係るウェブサイト掲載の義務づけ、モニタリングの面接方法などの項目を改正するものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行し、第２４条第３項の改正規定につきましては令和７年４月１日からの施行としております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

次に、議案第３０号、芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の主な内容は、従業員等の人員基準の見直し、重要事項の掲示に係るウェブサイト掲載の義務づけ、モニタリングの面接方法などの項目を改正するものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行し、第２５条第３項の改正規定につきましては令和７年４月１日からの施行としております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから日程第３２、議案第２７号から日程第３５、議案第３０号までを、順次討論を行い、採決します。

日程第３２、議案第２７号、芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、討論を

行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２７号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２７号は原案のとおり可決しました。

日程第３３、議案第２８号、芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２８号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２８号は原案のとおり可決しました。

日程第３４、議案第２９号、芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第２９号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第２９号は原案のとおり可決しました。

日程第３５、議案第３０号、芦北町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３０号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３０号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第３６　議案第３１号　芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３６、議案第３１号「芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。栫農林水産課長。

○農林水産課長（栫　浩之君）　議案第３１号、芦北町多目的研修集会施設及び農産物加工施設条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、多目的研修センター使用料を利用実態に合わせ変更するために改正するものであります。

改正の内容としましては、これまで半日及び１日単位としておりました使用料につきまして、１時間単位というふうに変更し、利便性の向上を図っております。

附則としまして、この条例は令和６年４月１日から施行するものとしております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３１号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第３７　議案第３２号　芦北町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３７、議案第３２号「芦北町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。栫農林水産課長。

○農林水産課長（栫　浩之君）　議案第３２号、芦北町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

今回の改正は、漁港漁場整備法の法律名が、漁港及び漁場の整備等に関する法律に改称及び内容が一部改正されたことに伴い、条例の一部改正を行うものでございます。

内容としまして、第１条の引用文言の改正、それから第４条で規定しております占用等に関する規定を修正を行っております。

附則としまして、この条例は令和６年４月１日から施行いたします。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３２号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３２号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第３８　議案第３３号　芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について

第３９　議案第３４号　芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について

第４０　議案第３５号　芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について

第４１　議案第３６号　芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について

第４２　議案第３７号　芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第３８、議案第３３号「芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について」から日程第４２、議案第３７号「芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について」までを、議会運営委員会の答申に基づき、会議規則第３６条の規定により一括議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第３３号から議案第３７号までの内容につきましては、先般開催されました全員協議会において御説明させていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、議案第３３号、芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

この条例は、湯浦温泉センター並びに計石温泉センターの入浴料の見直しに伴い、改正を行うものです。

改正内容としましては、入浴料の一般、中学生以上を２５０円に、小学生を１５０円に、小学校就学前までを無料とするものです。また、回数券につきましても、それぞれ記載の額に改正するものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行することにしております。

なお、経過措置として、すでに発行されている回数券の効力について定めております。

提案理由については、記載のとおりです。

次に、議案第３４号、芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

この条例は、芦北町営湯浦温泉観光センターの入浴料の見直しに伴い、改正を行うものです。

改正内容としましては、入浴料の一般、中学生以上を５００円に、小学生を３００円に、小学校就学前までを無料とするものです。

また、回数券、定期券３か月、団体券並びに芦北町営温泉プールとの共通券につきましても、同様にそれぞれ改正を行うものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行することにしております。

なお、経過措置として、すでに発行されている回数券、定期券の効力について定めております。

提案理由については、記載のとおりです。

次に、議案第３５号、芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

この条例は、吉尾温泉公衆浴場の入浴料の見直しに伴う改正を行うものです。

改正内容としましては、入浴料の一般、中学生以上を２５０円に、小学生を１５０円に、小学校就学前までを無料とするものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行することにしております。

提案理由については、記載のとおりです。

次に、議案第３６号、芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

この条例は、御立岬温泉センターの入浴料の見直しに伴い、改正を行うものです。

改正内容としましては、入浴料の一般、中学生以上を５００円に、小学生を３００円に、小学校就学前を無料とするものです。

また、回数券、定期券３か月につきましても、同様にそれぞれ改正を行うものです。

附則といたしまして、この条例は令和６年４月１日から施行することにしております。

また、経過措置として、すでに発行されている回数券、定期券の効力について定めております。

提案理由については、記載のとおりです。

次に、議案第３７号、芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

この条例は、大野温泉センターの入浴料の見直しに伴い、改正を行うものです。

改正内容としましては、入浴料の一般、中学生以上を５００円に、小学生を３００円に、小学校就学前までを無料とするものです。

また、回数券、定期券３か月につきましても、同様にそれぞれ改正を行うものです。

附則としまして、この条例は令和６年４月１日から施行することとしております。

なお、経過措置として、すでに発行されている回数券、定期券の効力について定めております。

提案理由については、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから日程第３８、議案第３３号から日程第４２、議案第３７号までを、順次討論を行い、採決します。

日程第３８、議案第３３号、芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３３号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３３号は原案のとおり可決しました。

日程第３９、議案第３４号、芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３４号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３４号は原案のとおり可決しました。

日程第４０、議案第３５号、芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３５号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３５号は原案のとおり可決しました。

日程第４１、議案第３６号、芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３６号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３６号は原案のとおり可決しました。

日程第４２、議案第３７号、芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について、討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３７号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３７号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４３　議案第３８号　芦北町空家等対策に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第４３、議案第３８号「芦北町空家等対策に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君）　議案第３８号、芦北町空家等対策に関する条例の一部を改正する条例の制定について、御説明申し上げます。

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、条項のずれが生じました。当該条項を引用する本条例においても修正が必要なため、改正を行うものでございます。

附則として、この条例は公布の日から施行するものです。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３８号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３８号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４４　議案第３９号　生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第４４、議案第３９号「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。平田上下水道課長。

○上下水道課長（平田秀臣君）　議案第３９号、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について、御説明申し上げます。

本条例は、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行により、水道法等による点検が厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管することに伴い、関連する条例を一括して改正するものです。

附則として、この条例は令和６年４月１日から施行するものです。

なお、提案理由については、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第３９号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第３９号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　日程第４５、議案第４０号から日程第５４、議案第４９号までの指定管理者の指定に係る議案の審議の前に、指定管理者選定の経緯について、総務課長に説明を求めます。松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　議案第４０号から議案第４９号までの指定管理者の指定に係る議案につきましては、その選定の経緯等について一括して御説明申し上げます。

今回の１０施設の選定につきましては、令和６年１月３０日に指定管理者候補者選定委員会を開催し、経営状況等を総合的に勘案し、候補者として決定をしたものです。

なお、選定に当たっては、施設の設置目的を効果的かつ効率的に達成するため、地域等の活力を積極的に活用し、管理を行うことにより、事業効果が明確に期待できるものとして公募によらない選定を行っております。

指定の期間につきましては、全施設、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間となっております。

以上で、説明を終わります。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第４５　議案第４０号　芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第４５、議案第４０号「芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　議案第４０号、芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町薩摩街道佐敷宿交流館、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字田浦２１２８番地、芦北ななうら会、会長　倉永淳一。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

なお、提案理由につきましては、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４０号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４０号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４６　議案第４１号　芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第４６、議案第４１号「芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。長﨑住民生活課長。

○住民生活課長（長﨑十三男君）　議案第４１号、芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町女島活力推進センター、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字女島７７０番地１４、女島開発委員会、会長　大崎慎哉。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４１号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４７　議案第４２号　芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第４７、議案第４２号「芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　議案第４２号、芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町高齢者生活福祉センター、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字湯浦１４３９番地１、社会福祉法人　芦北町社会福祉協議会、会長　内山忠美。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

なお、提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４２号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４２号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４８　議案第４３号　芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第４８、議案第４３号「芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。栫農林水産課長。

○農林水産課長（栫　浩之君）　議案第４３号、芦北町水産物直売施設の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町水産物直売施設、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字計石１９５番地１、株式会社　葦彩、代表取締役　遠山菊江。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

なお、提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４３号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４３号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－○－－－－－－－

第４９　議案第４４号　芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第４９、議案第４４号「芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第４４号、芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町吉尾温泉公衆浴場、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字吉尾２４番地３、吉尾温泉管理組合、組合長　畑野道春。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４４号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４４号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第５０　議案第４５号　芦北町物産館の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第５０、議案第４５号「芦北町物産館の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第４５号、芦北町物産館の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町物産館、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字田浦町１４５番地、有限会社　御立岬、代表取締役　藤崎正司。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由については、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４５号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４５号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第５１　議案第４６号　芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第５１、議案第４６号「芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第４６号、芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町御立岬公園、釣り場は除きます。指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字田浦町１４５番地、有限会社　御立岬、代表取締役　藤崎正司。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４６号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４６号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第５２　議案第４７号　芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第５２、議案第４７号「芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第４７号、芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町御立岬公園釣り場、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字田浦町４２６番地３、芦北町漁業協同組合、代表理事組合長　山元光晴。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４７号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４７号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第５３　議案第４８号　芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第５３、議案第４８号「芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　議案第４８号、芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は芦北町大野温泉センター、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字佐敷４２４番地、あしきた農業協同組合、代表理事組合長　白坂主税。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４８号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４８号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第５４　議案第４９号　古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について

○議長（宮内道則君）　日程第５４、議案第４９号「古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。上野コミュニティセンター課長。

○コミュニティセンター課長（上野孝司君）　議案第４９号、古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について、御説明申し上げます。

施設の名称は古石地区生涯学習センターみどりの里、指定管理者は熊本県葦北郡芦北町大字古石３９１番地２、古石緑創会、会長　森下弘美。

指定の期間は、令和６年４月１日から令和９年３月３１日までの３年間としております。

提案理由は、記載のとおりです。

以上で、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４９号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４９号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　ここで議案配付のため、しばらくお待ちください。

［議案　配付］

○議長（宮内道則君）　配付漏れはありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　配付漏れなしと認めます。

－－－－－－－○－－－－－－－

第５５　同意第１号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

○議長（宮内道則君）　日程第５５、同意第１号「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」を議題とします。

本案について、説明を求めます。竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　芦北町教育委員会委員に次の者を任命したいので、議会の同意を求めます。

住所、熊本県葦北郡芦北町大字佐敷１８６番地、氏名、濵田真理子。

この件につきましては、教育委員会委員１名が令和６年３月３１日付で辞職することに伴い、新たに委員を任命するものです。

教育委員の任命については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第２項の規定により、議会の同意を得る必要がありますので、本案を提出します。

濵田真理子氏は、昭和６１年４月から約３８年間、町内外の小学校において教鞭をとられ、現在、田浦小学校長として活躍されております。教育に関する高い識見と豊富な経験を有しておられることから、教育委員会委員に最適と認め、ここに議会の同意を求めるものであります。

なお、同意いただく教育委員の任期は、同法第５条第１項の規定により、前任者の残任期間、令和７年２月１０日までとなりますので、申し添えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論ありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから同意第１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、同意第１号は原案のとおり同意することに決定しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　以上で、本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

御苦労様でした。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

散会　午後０時０３分

令和６年第１回芦北町議会定例会議事日程（第２号）

令和６年３月１２日
午前１０時　開　会
於　　議　　場

１　議事日程

開会宣告

第１　一般質問

（散　会）

２　出席議員（１２人）

１番	百　田　翔　吾　君	２番	楠　原　清　照　君
３番	長　口　　隆　君	４番	林　田　燿　宏　君
５番	坂　本　　登　君	６番	寺　本　順　一　君
８番	草　野　安　道　君	９番	宮　尾　秀　行　君
10番	川　尻　成　美　君	11番	寺　本　修　一　君
13番	元　山　秀　志　君	14番	宮　内　道　則　君

３　欠席議員（２人）

７番	白　坂　康　浩　君	12番	岡　部　惠美子　君

４　説明のため出席した者の職氏名（１７人）

町　　長	竹　﨑　一　成　君	副　町　長	藤　崎　正　司　君
教　育　長	岩　田　繁　義　君	総務課長	松　本　俊　造　君
企画財政課長	白　坂　達　也　君	税務課長	佐　竹　貴　幸　君
住民生活課長	長　﨑　十三男　君	福祉課長	池　田　康　浩　君
健康増進課長	田　中　公　広　君	農林水産課長	栫　　浩　之　君
商工観光課長	釜　　辰　信　君	建設課長	鎌　倉　博　之　君
上下水道課長	平　田　秀　臣　君	教育課長	田　代　　忍　君
ｽﾎﾟｰﾂ・文化振興課長	岡　田　謙　治　君	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ課長	上　野　孝　司　君
会計管理者兼会計室長	溝　俣　圭　一　君		

５　職務のため出席した事務局職員の職氏名（２人）

議会事務局長	窪　田　和　彦　君	次　長(主幹)	鎌　田　富士夫　君

令和６年第１回定例会一般質問通告表

質問順番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	楠原清照	1　日奈久断層帯の大地震発生に対する備え等について	①　最大でどの程度の地震が発生すると予測されているのか。 ②　現在までの日奈久断層帯の活動状況及び今後の動向についてどのように認識しているのか。 ③　大地震が発生した場合における被害のシミュレーションはできているのか。シミュレーションができていればどの程度の被害を想定しているのか。 ④　大地震に対する備えについて現在までどのような対策を行っているのか。 ⑤　今後の更なる対策についてはどのように考えているのか。	町長及び担当課長
		2　吉尾地域の振興について	①　本地域の人口の推移等、その現状はどうなっているのか。 ②　本地域の令和２年７月豪雨災害に伴う町・県管理の道路、河川及び農地等の被害状況と復旧状況はどうなっているのか。 ③　本地域の令和２年７月豪雨災害に伴う被災者支援の状況はどうなっているのか。 ④　ＪＲ肥薩線の復旧状況の見通しはどうなっているのか。 ⑤　本地域のふれあいツクールバスの運行の現状と取組はどうしているのか。	町長及び担当課長

			⑥　本地域の農林業の振興についてはどのように考えているのか。 ⑦　本地域の道路等インフラ整備についてはどのように考えているのか。 ⑧　本地域の観光振興等についてはどのように考えているのか。 ⑨　本地域の地域コミュニティの活性化及び公民館活動についてはどのように考えているのか。 ⑩　地域活性化に資するため旧吉尾小学校を拠点施設の一つとして有効に活用する考えはないか。 ⑪　地域おこし協力隊を集中配置する考えはないか。 ⑫　町は本地域を町全体の中でどのように位置づけ、その将来イメージをどのようにとらえ、かつどのように対応しようと考えているのか。	
2	川尻成美	1　漁業振興策について	近年の漁業経営は、漁獲量の減少、燃油価格の高騰、高齢化・後継不足などの諸問題によって大変厳しい状況である。 ①　町は、漁協や漁業者の状況をどのように把握しているのか。 ②　本町の基幹産業として位置づけてある漁業に対して、町として、どのような支援策を講じているのか。 ③　県との連携した取組について、具体策等はどうなってい	町長及び担当課長

			るのか。	
		2　災害に備えた防災・減災対策について	近年、我が国はもとより世界中で大きな自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしている。 ①　町長の施政方針の中で、本町では「地域防災力の向上を図る」とあるが具体的にはどのような取組なのか。 ②　「防災拠点センター整備基本設計を行い防災体制の強化を図る」との説明があったがどのような内容の計画か。 ③　令和６年能登半島地震においても、古い木造家屋の倒壊が多かったと聞く。災害発生時の被害を最小限に留めるための対策を講じる「減災」の取組が重要と考えるが、本町における古い木造家屋の耐震化の対応はどうなっているのか。また、耐震化に要する経費について補助を行う考えはないか。	町長及び担当課長
3	林田燿宏	1　本町における通学路の安全対策について	①　通学路で子どもたちが巻き込まれる交通事故は、全国であとを絶たない状況である。子どもたちの命を守るため、教育委員会として通学路の安全確保の対策をどのように取り組んでいるのか。 ②　車両から子どもたちの通学路の安全を確保するために、地域や学校で取り組んでいる具体的な対策は。 ③　現在、町で運用しているスクールバスの所有数、また、児童生徒の交通安全のため、	教育長及び担当課長

			当該スクールバスのさらなる活用を行う考えはないか。	

開会　午前１０時００分

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　皆さん、おはようございます。

直ちに本日の会議を開きます。

岡部君、白坂君から欠席届が出ております。

本日の日程はお手元に配付しております議事日程のとおりであります。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第１　一般質問

○議長（宮内道則君）　日程第１、一般質問を行います。

質問通告者は３人です。通告書は、お手元に配付しております。質問時間は、従来どおり補助質問を含めて３０分以内に制限します。それから、一般質問は通告制であります。質問に関連して求める関連質問は許可しません。質問に当たっては、通告内容に基づいた質問をされるよう求めます。また、執行部の答弁も明快かつ簡潔に願います。

それでは、順番に発言を許します。

はじめに、楠原君。

○２番（楠原清照君）　おはようございます。

楠原でございます。

芦北町議会会議規則第６０条第１項の規定に基づき、議長の許可のもと、質問をさせていただきます。

さて、本年１月１日、１６時１０分、石川県能登半島地下１６㎞を震源とするマグニチュード７．６の大地震が発生いたしました。この突然の大地震によって、元旦の正月番組はＮＨＫ、民放各局、全て中止され、地震報道一辺倒になったことは記憶に新しいところでございます。こんな正月が来ようとは誰が想像したでしょうか。誠に恐ろしい出来事でした。

報道によりますと、死者２３８人、そのうちの２２２人の死因を調べたところ、圧死が４１％、窒息・呼吸不全が２２％、低体温・凍死が１５％、外傷性ショック等が１３％、焼死が１％、その他が８％ということでした。被害額は１．１兆円から２．６兆円との政府試算が、１月２５日発表されております。

また、我が熊本県におきましても、８年前の２０１６年（平成２８年）に大地震が発生しております。４月１４日、２１時２６分に１回目の地震が発生し、マグニチュード６．５、震度７を益城町で記録、２日後の４月１６日、１時２５分に本震発生、マグニチュード７．３、震度７が益城町と西原村で観測されております。

このときの物的被害は、全壊約８，３００棟、住家被害計１６万棟、最大４５万

戸断水、約４８万戸停電、約１１万戸がガス供給停止となり、交通網も道路、鉄道、空路が一時不通となるなど、大きな被害が発生しております。被害総額は４．６兆円と推計されております。

また、日本の有史以来の地震の記録をたどってみますと、日本で最初の地震の記録があるのは日本書紀でありまして、西暦で４１６年に発生したとされているようでございます。つまり１６０８年前ということです。以後、マグニチュード６．１以上の地震は３０４回発生しているということで、これは単純計算では実に５年に一度は日本のどこかで比較的大きな地震が発生しているということになります。近年では１９２３年、大正１２年の関東大震災で、マグニチュード７．９、最大震度７、１９９５年（平成７年）、阪神淡路大震災ではマグニチュード７．３、最大震度７を記録、２０１１年（平成２３年）には、東日本大震災でマグニチュード９．０、最大震度７が記録されております。日本がいかに地震大国かということが分かろうというものです。

能登半島地震の報道が過熱する中の本年１月８日には、ＫＡＢ熊本朝日放送のくまもとＬｉｖｅ　ｔｏｕｃｈという番組で、熊本の日奈久断層帯が抱えるリスクという特集をやっておりました。本町田浦出身の田中杜旺アナウンサーのいるあの番組でございます。それによりますと、日本には危険なＳランクに分類されている断層帯が３１箇所あること、そして阪神淡路大震災発生前より切迫度が高い断層が８箇所あり、そのうちの１つが日奈久断層帯であること、日奈久断層帯の平均活動期間は最短で１１００年であり、いつ発生してもおかしくないこと、日奈久断層帯の３０年以内地震発生確率は１６％であり、阪神淡路大震災発生前の想定確率８％を上回っていること、先の熊本地震によりひずみがさらに蓄積され、危険性が高まっていることなど、驚愕すべき内容であったわけです。あくまでテレビ番組ですから、鵜呑みにするのもどうかとは思いましたが、番組では九州大学地震工学専門の松田泰治教授や、東北大学災害科学国際研究所、遠田晋次教授が、画面に向かって注意喚起のコメントを真面目にされておりましたので、不安をあおる単なるバラエティー番組とは違い、番組の信ぴょう性は極めて高いのではと感じたわけでございます。

さらに、今度は１月２８日、熊日２面には「安心できない日奈久断層、東北大学国際研究所、遠田晋次教授に聞く」との見出しで、大きく記事が掲載されており、津波の発生リスク等の注意喚起をされている記事でございました。このように、社会的関心も高まってきたことから、急遽、地震に対し、言うなれば緊急質問を行わねばと思った次第でございます。

そのようなことで、通告書１、日奈久断層帯の大地震発生に対する備え等について質問いたします。①最大でどの程度の地震が発生すると予測されているのか。②

現在までの日奈久断層帯の活動状況及び今後の動向についてどのように認識しているのか。③大地震が発生した場合における被害のシミュレーションはできているのか。シミュレーションができていれば、どの程度の被害を想定しているのか。④大地震に対する備えについて、現在までどのような対策を行っているのか。⑤今後の更なる対策について、どのように考えているのか。この５点について、質問をさせていただきます。

次の質問に移ります。私は役場職員時代、４２歳の頃でございますから、２５年ほど前、吉尾出張所所長として２年間、吉尾地域に赴任しておりました。その２年間、様々な行事にほとんどもれなく御案内いただきましたが、親しみと冗談も含めて、地区民の皆さんから、村長さん、村長さんと呼ばれ、恥ずかしいやら、少し嬉しいやらの気持ちになっていたことを思い出します。当時は、清流かじかの会など地域おこしグループが活発に活動していまして、吉尾川でカヌー競争などをしてにぎわっていましたし、吉尾温泉あゆまつりでは、アユの塩焼きを食べに行ったものです。

また、ある日、地元の世話焼きのおばちゃんが出張所に訪ねてこられて、開口一番、吉尾にはよか年した独身の男が１００人もおるとよと、ばってん嫁の来てがなかとが吉尾の一番の問題よとおっしゃるものですから、それなら婚活パーティーばせなんたいということになりまして、急遽、熊本中央信用金庫や肥後銀行の独身女性職員などに片っ端から声をかけ、吉尾の男たちと三井グリーンランドへ遊びに行ったりしたわけです。ところが、吉尾の男たちは実にシャイな上に、最初に乗った風神雷神という途中１回転する絶叫系のジェットコースターで完全にびびってしまいまして、以後、保育園児や小学校低学年向けの、ゆっくりごとごと走るトロッココースターにしか乗らなかったものですから、何ばしよっとやにどまと、じりじりしながら発破を掛けた思い出があります。少し脱線しましたけれども、このようにこの時代まではいろいろやっておりましてね、まだそれなりに元気があったと思うわけです。

しかし、今、吉尾地域は高齢化が加速しながら、人口もどんどん減少し、活力が低下、それらのイベントもいつの頃からか途切れてしまっているようです。また、集落は限界集落どころか、消滅集落となる懸念も大きくなっております。本来、行政サービスは町内平等に公平に提供されなければなりませんが、実情は街部と散在山村集落とでは地理的な問題等も相まって、街部と同等とは言い難いということも確かなことだと思うわけです。２３０㎢と広大な面積を抱える我が町において、散在する山村地域に住む人々が、そのような厳しく不便な環境にあっても、その生涯を安心して暮らせる、ソフト・ハードを織り交ぜた持続可能な行政サービスの充実

と地域活性化、すなわち地域振興は極めて難しい課題であるからこそ、極めて重要な課題ではないかとも思うわけです。

そこで、今回、通告書２、吉尾地域の振興について質問します。①本地域の人口の推移等その現状はどうなっているのか。②本地域の令和２年７月豪雨災害に伴う町・県管理の道路、河川及び農地等の被害の状況と復旧状況はどうなっているのか。③本地域の令和２年７月豪雨災害に伴う被害者支援の状況はどうなっているのか。④ＪＲ肥薩線の復旧状況の見通しはどうなっているのか。⑤本地域のふれあいツクールバスの運行の現状と取組はどうしているのか。⑥本地域の農林業の振興についてはどのように考えておるのか。⑦本地域の道路等インフラ整備についてはどのように考えているのか。⑧本地域の観光振興等についてはどのように考えているのか。⑨本地域の地域コミュニティの活性化及び公民館活動についてはどのように考えているのか。⑩地域活性化に資するため、旧吉尾小学校を拠点施設の一つとして有効に活用する考えはないか。⑪地域おこし協力隊を集中配置する考えはないか。⑫町は本地域を町全体の中でどのように位置づけ、その将来イメージをどのようにとらえ、かつどのように対応しようと考えているのか。この１２点についてお尋ねしたいと思います。

以上、通告書１から２までの質問に対し、御答弁をお願いいたします。これで、壇上での質問を終わります。再質問は質問席から行います。

○議長（宮内道則君）　楠原君の１回目の質問が終わりました。答弁を求めます。竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　おはようございます。

楠原議員の御質問にお答えいたします。

令和６年能登半島地震が発生いたしまして、甚大な被害状況が確認をされております。令和２年７月豪雨を経験した本町におきましても、人的派遣や義援金の送付、ふるさと納税の代理収納など、支援活動を行っているところでありますが、今回の地震は対岸の火事ではなく、身近に起こることとし捉えております。

御質問の日奈久断層帯での地震発生予測については、政府地震調査研究推進本部地震調査委員会が発表した令和６年１月１日を算定基準日とする長期評価による確率は、八代海区間がマグニチュード７．３程度、３０年以内の発生確率が最大で１６％、日奈久区間がマグニチュード７．５程度、３０年以内の発生確率が最大で６％、高野白旗区間がマグニチュード６．８程度、３０年以内の発生確率は不明とされております。本町では令和４年３月に芦北町地震災害対応整備計画を策定しておりますが、ハード・ソフト含めまして、しっかりと備えておくことが要諦であると認識をしておるところでございます。

次に、質問の主題２の④について、お答えいたします。ＪＲ肥薩線の復旧の決定権は事業者であるＪＲ九州にありますが、熊本県と地元の関係市町村で構成する肥薩線再生協議会は、ＪＲ肥薩線の復旧を目指すことで合意をしております。また、熊本県、国土交通省、ＪＲ九州の３者で、ＪＲ肥薩線検討会議を開催し、復旧後の肥薩線の在り方について検討する中、熊本県からＪＲ肥薩線復興方針が示されましたが、ＪＲ九州は持続可能性に疑問が残ると慎重な考えを示しております。現時点では、肥薩線の在り方をめぐって、３者で一定の結論を得る見通しは立っていない状況であります。

続きまして、⑫について、お答えをいたします。吉尾地域の高齢化率は、本町全体の４６．８％を大幅に上回っております。少子高齢化が深刻な状況にあると認識をしておりまして、本町としましては吉尾地域に限らず、町内全ての地域を区別することなく、様々な施策を展開しているところです。特に、人口減少対策は喫緊の課題であることから、移住定住の促進や関係人口の増加につながる施策に取り組んでおります。

なお、具体的な内容及び残余の質問につきましては、担当課長から答弁させます。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　御質問、主題１の②について、お答えいたします。

地震調査研究推進本部の出展によりますと、日奈久断層帯周辺の地震については、１６１９年にマグニチュード6．0、１９１６年にマグニチュード6．1、１９３１年、マグニチュード5．9の地震が発生したとされております。今後の認識につきましては、先ほどの町長答弁にもあったとおり、八代海区間ではマグニチュード7．３程度が推定され、その際には３m程度のずれが生ずる可能性があり、今後３０年の間に発生する可能性が日本の活断層帯の中で高いグループに属することになります。日奈久区間についてもマグニチュード7．５程度が推定され、断層南東側３m程度の相対的隆起と、それ以上の右横ずれの可能性があるとされております。

次に、③の御質問にお答えいたします。

被害のシミュレーションに関しましては、特に地震を想定した実験などは行っておりませんけれども、町が発行しております総合防災マップにおいて、地震揺れやすさマップを掲載しております。地震想定は布田川日奈久断層帯中部を震源とするマグニチュード８．０規模で、町の中心部で震度６強や６弱、町全体で震度５強を想定しております。

津波に関しましては、津波マップとして防災マップに掲載をしております。津波の想定は、布田川日奈久断層帯中部・南西部連動型地震、マグニチュード7．９規模で想定しており、河口や湾の奥付近の地域を中心に１m以上、箇所によっては２

ｍから５ｍ未満の津波を想定しております。

被害想定については、町の防災計画にも掲載しておりますが、熊本県が平成２５年に行った熊本県被害想定調査では、布田川日奈久断層帯中部・南西部連動型地震で、マグニチュード７．９、最大震度７、津波高が３．４ｍの地震を想定しておりまして、県全体の物的被害については全壊２万８，０００棟、半壊８万２，３００棟、断水人口７８万９，８００人、停電６万１，５００軒などとなっております。人的被害につきましては、死者９６０人、重傷者４，７００人、負傷者２万２，７００人、避難者は２４万人が想定をされているところです。なお、町単独での被害想定は行っておりません。

次に、④と⑤、これは関連いたしますので、一括してお答え申し上げます。令和２年７月豪雨を踏まえ、各方面から防災力の強化を図っているところでありますが、最も大きな被害が想定されます地震災害に対応するため、令和４年３月に地震災害対応整備計画を策定をいたしまして、①被害を最小限に抑えるための対策、②で被災後の生活維持・再建のための対策、これらについて施策をまとめ、これに沿ってソフト・ハードの事業を進めております。

ソフト面では、各種マニュアルの策定、地震・津波を想定した避難訓練の実施、防災講話や地区防災計画の策定支援、地域防災力強化支援補助金の創設、避難所環境の充実や防災倉庫の設置などに取り組んでおります。

ハード面では、役場庁舎への非常用発電機の設置や防災無線の更新工事、防災拠点施設の整備検討を進めております。

今後の対策につきましても、本計画をベースに対策を進めることが重要でありますので、着実な進捗が図られるよう、関係課とも連携をしてまいりますけれども、地震に関しましては事前避難の行動が取れませんので、いざ大地震が発生した場合には、津波なども想定をいたしまして、命を守る行動を即座にとっていただくよう、訓練を通して常態化を図ってまいりたいと考えております。

加えて、今回の能登半島地震では、住宅倒壊による直接死が多く確認をされておりますので、耐震シェルターなどの住宅耐震化補助事業の啓発や地震を起因とする建物火災防止の取組を喫緊の課題として進めてまいります。以上です。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　質問の主題２の①の御質問にお答えいたします。

吉尾地域の人口の推移につきましては、３０年前の平成６年１月１日の人口が１，４６６人、平成１６年１月１日の人口が１，１７１人、平成２６年１月１日の人口が８４６人、令和６年１月１日の人口が４７５人となっており、３０年前と比較しますと６７．５％減少しております。

次に、⑤の質問にお答えいたします。

吉尾地域は山間地域であることから、高齢者等の交通弱者の日常的な移動を支えるため、ふれあいツクールバスの白石大岩線、黒岩線、上原線、内木場線により、地域公共交通を構築しています。

各路線の便数、運行経路について、御説明申し上げます。白石大岩線は、白石から吉尾、大岩、大尼田を経由して、役場まで運行する定時路線で、１日５便運行しています。黒岩線は、白石大岩線に接続する路線で、毎週金曜日に１日２便、黒岩から大岩まで運行する事前予約便です。上原線は、毎週木曜日に１日１便、上原から海路まで運行する事前予約便です。内木場線は、大野線に接続する路線で、毎週木曜日に１日１便、上原から箙瀬を経由して才木まで運行する事前予約便です。

次に、⑨の御質問にお答えいたします。

企画財政課におきましては、各地域の世代間交流を活性化するため、町職員を事業推進員とするまちづくり支援事業により、地域コミュニティの活性化を図っております。

次に、⑩の御質問にお答えいたします。

旧吉尾小学校の活用につきましては、関係各課に紹介を行いましたが、現在のところ、具体的な活用の予定はありません。しかしながら、地域で活用の機運が高まるようでしたら、地域住民の方との協議の場を設けることについて検討したいと考えています。

次に、⑪の質問にお答えいたします。

地域おこし協力隊員の配置につきましては、具体的な地域課題、活動内容、活動拠点等に応じて、各課で募集し配置することから、吉尾地域の活性化につながるようなメニューの検討を行い、募集の可能性を探ってまいります。なお、令和６年度は、農林水産課で５人、商工観光課で５人、新たに募集し、充実を図る予定です。

○議長（宮内道則君）　鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君）　質問の主題２の②、建設課関係の被害状況と復旧状況について、お答えします。

吉尾地域の道路、河川の被害状況につきましては、道路３３件、河川４１件、合計７４件、被害額１０億５，９９０万６，０００円となっています。復旧状況につきましては、令和６年２月末現在で、道路１５件、河川２５件、合計４０件、率で５４％が完了しています。なお、発注件数は６６件であり、率で８９％となっています。残りの災害復旧８件につきましては、令和６年度に全て発注する予定です。

次に、県関係の県道、河川の被害状況につきましては、道路１７件、河川２３件、合計４０件が被災し、道路１７件、河川２２件、合計３９件、率で９８％が完了し

ています。

次に、⑦の質問についてお答えします。

吉尾地域における現在の道路の整備状況については、国の代行事業で行います球磨川沿いの県道球磨田浦線と町道川嶽線については、仮設道路として供用開始しておりますが、今後、嵩上げ等を含めた整備に向け、設計が行われることになります。

吉尾地域と国道２１９号をつなぐ神瀬橋につきましては、昨年１１月に着工し、現在工事が進められています。

県道芦北坂本線については、吉尾地域にとって重要な路線と認識しておりますので、未改良区間の早期着手に向け、今後も強く要望してまいります。

町道につきましては、舗装の損傷が激しい箇所や落石が見られる箇所について、通行の安全性向上のための舗装工事や落石防護柵設置工事を進めてまいります。以上です。

○議長（宮内道則君）　栫農林水産課長。

○農林水産課長（栫　浩之君）　質問の主題２の②、農林水産課関係の被害状況と復旧状況について、お答えいたします。

吉尾地域の農地、農業用施設及び林道の被害状況につきましては、農地６件、農業用施設５件、林道１件、合計１２件が被災し、被害額は１億３７７万円となっております。復旧状況につきましては、本年１月に全て完了しております。

また、被災農地に周辺農地を含めた約１０haについては、県営芦北東部地区基盤整備事業吉尾工区として、土地改良法に基づく圃場整備を令和６年度から行う計画としております。

次に、⑥の質問について、お答えいたします。

農業の振興については、古寺川内地区と吉尾地区で中山間地域等直接支払事業に取り組み、農地の保全活動を行っています。また、本地域においては、基盤整備田を核とし、水稲栽培を中心にバレイショ、タマネギなどの多品種の導入を図ることが計画をされております。この方向性に沿って、地域農業を守っていくことが必要であると考えております。

林業の振興につきましては、吉尾地区には約２，７００haの民有林がありますので、自伐型林業等により後継者等を育成・確保し、森林の有効な活用・管理を行っていく必要があると考えております。

○議長（宮内道則君）　池田福祉課長。

○福祉課長（池田康浩君）　質問の主題２の③について、お答えします。

吉尾地域においては、令和２年７月豪雨災害の罹災証明は６７件交付されております。吉尾地域に限らず、被災世帯に対しましては応急仮設住宅や町営住宅による

仮住まいの提供、応急修理制度、被害区分や再建方法に応じた被災者生活再建支援金、また、住まいの再建支援策、県と町の義援金、町災害見舞金、そのほか地域支え合いセンターによる見守り活動により支援を実施しております。

吉尾地域の被災世帯６７件のうち、４４件は当該地域内で再建されています。また、４件が芦北町内の別地での再建、１８件が町外で再建を果たされました。なお、１件は球磨川嵩上げ工事の完了待ちとなっており、この世帯については遅くとも７月頃までに元地で再建予定です。以上です。

○議長（宮内道則君）　釜商工観光課長。

○商工観光課長（釜　辰信君）　質問主題２の⑧について、お答えします。

まずは、本地域の交通インフラ等の復旧が急がれますが、本地域の観光振興等についても復興に当たって重要な要素であると考えます。具体的には、静かな自然環境に囲まれた秘湯温泉として吉尾温泉をＰＲするとともに、本町に進出しているＩＴ関連企業の活用も視野に入れ、検討する必要があると考えます。

○議長（宮内道則君）　上野コミュニティセンター課長。

○コミュニティセンター課長（上野孝司君）　質問の主題２の⑨の公民館活動について、お答えします。

自主公民館活動につきましては、吉尾地域に限らず、公民館活動の促進と人材育成を図るため、町内自治公民館長を対象に先進地の視察研修や、町内での活動事例の発表をする公民館活動研修会を実施しており、また公民館の改修等に対して芦北町地区公民館建設補助金により、その費用の一部を助成しております。

吉尾地域の公民館活動につきましては、今後とも自治公民館連絡協議会と連携を図りながら、地域の要望等をお伺いする中で、公民館活動の充実に向けた支援を行ってまいります。以上です。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ありがとうございました。

通告書１について、再質問をさせていただきます。

総務課長にお尋ねします。公共施設や民間家屋の耐震化率は現在どうなっていますか。また、地震による家屋火災防止対策の観点から、今般の当初予算に計上してある感震ブレーカー設置補助について、委員会でも一応説明がありましたけれども、重要な課題と認識していますので、改めて説明をお願いいたします。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　お答えいたします。

住宅の耐震化率についてですけれども、平成２９年に改定をいたしました芦北町耐震改修促進計画の中で触れておりまして、総建物数６，５３０戸に対して、耐震

化率が５８．２％と推計をいたしております。町有の建築物、これは公共施設、あと木造住宅等も含みますけれども、総建物数３６９棟に対して、耐震化率７１％と推計をいたしております。

次に、感震ブレーカーについてですけれども、地震のときに想定をされます通電火災に効果があるとされておりまして、設定値以上の地震を感知した場合に、ブレーカーやコンセントの電気を自動的に止める、そういう器具になります。タイプは、分電盤、コンセントなど４種類ございまして、安いもので３，０００円から１万５，０００円、高いもので５万円から１０万円とされておりますけれども、補助内容は設置費用の３分の２で上限を３万円とするものでございます。以上です。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ありがとうございます。

次に、大地震では水の確保が大きな課題となると思いますけれども、これについてはどのように考えていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　お答えいたします。

水道施設あるいは管路が被災した場合は、断水が予想されます。当面は他の自治体、自衛隊からの給水車での対応、あとは本町の備蓄物資でありますとか、プッシュ型支援の届く物資で対応していくということになろうかと思います。

策定をいたしました地震対応整備計画の中でも、水道施設や管路の耐震化にも触れてはおりますが、一方、屋外避難の対応としてですね、防災公園における防災井戸の整備にも言及しておりますので、今後、事例等も確認しながら検討を進めてまいりたいと思っております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次にですね、この大地震では水もなんですけれども、避難所等のトイレの確保が大きな課題となるようでございますけれども、これにつきましてはどのようにお考えですか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　お答えいたします。

地震時のトイレの問題、今回の能登半島地震でもクローズアップをされておりました。断水や管の損傷の場合、家庭やあるいは避難所のトイレも使用できなくなりますので、簡易トイレや仮設トイレで当面はしのいでいくということになろうかと思います。トイレの問題は、エコノミークラス症候群など命に関わる問題であるというふうに認識をしております。全国で浄化槽や避難所敷地内の下水管路、そういったものを使用するマンホールトイレの設置が進んでいる状況もございますので、

整備計画の中でもマンホールトイレの設置を挙げてございますので、まずは主要避難所５箇所への設置が可能かどうかですね、検討を進めたいと思います。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ありがとうございます。

次にですね、不知火海沖が震源地となった場合は、津波の発生が想定されますけれども、津波に備えた避難場所等についてはどのように考えていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　町内で想定されます津波の水位ですけれども、最大で３ｍを想定をいたしております。津波想定地域では、即座に命を守っていただく行動をとっていただく必要があります。南海トラフが今、盛んに言われておりますけれども、太平洋側の自治体ですね、そこでは津波タワーの整備など行われておりますけれども、まずはですね、やはりできるだけ高いところに逃げていただくことを意識して習慣づけることが必要であろうと思いますので、やはりこれには訓練を通した啓発活動しかございませんので、しっかり進めてまいりたいと思います。

なお、避難も大事ですけれども、確実な情報伝達というのがさらに必要となりますので、令和６年度から２年間で行います防災無線の整備工事におきまして、これまで同様に戸別受信機を設置するほかですね、屋外の拡声子局を１５箇所から３４箇所に増設をいたしまして、各自の情報伝達につなげてまいりたいと考えてございます。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　御答弁、ありがとうございます。

質問１をまとめてみたいと思います。この地震対策につきましてはですね、先般の２月１６日の県議会において、地元選出の荒川県議が一般質問をされております。だいたい私も県議会の傍聴にですね、行きたかったわけでございますけど、ちょうど我が議会の災害特別委員会が開催されたこともありまして、残念ながら行けなかったわけでございます。どういう質問をされたのか内容は全く知りませんでしたが、２月１８日の消防点検のときに、県議にお会いして地震関連の質問をしたと言われるものですから、びっくりしまして、質問原稿の写しをいただいたわけであります。

その質問内容は、次のようになっております。３、熊本県の地震対策について、（１）能登半島地震の被災地に対する熊本県の支援について、（２）日奈久断層帯を起因とする地震及び津波対策について、（３）避難者支援について、（４）住宅耐震化への支援について、特に（２）の日奈久断層帯を起因とする地震及び津波対策についてなど、私の今回の一般質問通告書にそっくりでありますが、お断りして

おきますけれども、私は荒川県議の質問書を入手して、安易にパクったわけでは決してございません。その前から日奈久断層帯に絞った質問にしようと決めていたところでございます。たまたま同様の質問の表現になっていたということでありまして、政治的な感性が一致したということだと思います。

このように、今回は偶然でしたが、考えてみますと、今後、県議会と町議会において、ほぼ同じテーマによる質問を考えて実施してみるのも面白いかもしれないと思います。と申しますのも、本課題などは特に本町にとどまらず、県南全体の大きな課題なのでありまして、少なくとも八代、芦北、津奈木、水俣は、一緒になって取り組んでいくべきではないかと考えるからであります。未曽有の令和２年７月豪雨災害の復旧・復興は、道半ばではございますが、災い転じてと申しますか、単なる原形復旧にとどまらず、改良復旧が進んでおりまして、今後同様の豪雨程度には耐えられるようになっておるようでございます。従いまして、次の防災の大きな課題は、地震対策なのであろうと思うわけです。

日奈久断層帯大地震は、過去の動向や現状の分析などから、必ず発生すると専門家は予測しております。必ず来る、しかしいつ来るかが分からない、明日かもしれないし、１００年後かもしれない。そのような中にあって、行政はどう対応すべきなのかという問題です。Ｘデーまでに限られた財源の中で、いろいろなアイデアを出し合い、様々な取組を実際にやってみて、その有効性を検証し、ノウハウを蓄積し、備えるということが極めて重要であると思います。

一方では、現在、県知事選挙の真っ最中でございますが、新しい県知事には事の重要性を深く認識していただき、県の積極的対応を促す取組も非常に重要ではないかと思うわけです。

このようなことから、私は、県と関係自治体をメンバーとする日奈久断層帯大地震防災対策協議会の設立を提唱いたします。日奈久断層帯という固有名詞を掲げ、対象を明確にし、しっかり備える体制をまずは整えなければなりません。この大きな体制の中で、県が主導したり、各自治体が独自の備えを推進するという形が望まれるのではないかと思います。

そのような枠組みの中にあって、例えば耐震水道管の布設替えの促進、既存井戸の確保・保存、避難所等における汲み取り式トイレの有効性の検証、トイレトレーラー導入の検討、地震保険加入の促進補助、施政方針でも説明のあった防災拠点センターの設置計画の推進、予算に計上してある感震ブレーカーの普及促進、一般に広く周知する観点からの日奈久断層帯に詳しい専門家を招聘した講演会の開催、はたまた自然災害体験型キャンプ場を整備し、災害体験キャンプの企画実施、つまりサバイバルキャンプですけれども、こういうことも試してみる価値はあるのではな

いかと思うわけです。

しかし、ある傍聴者から聞くところによれば、荒川県議の質問に対する県執行部答弁が多少緩いものだったとも聞き及んでおります。まだ会議録はございませんが、もしそうであるなら、県としての危機感や認識が少々甘いのではと危惧しておるところでございまして、その姿勢は正してもらわねばならないと考えます。

私は、一般町民の皆さんに平時において、四六時中、大地震に気をつけろなどとは言いません。皆さんには、平和なときはその平和な空気を腹いっぱい吸い込んで、生活を楽しんでもらいたいと思います。最低限、日奈久断層帯の正しい知識と、地震のときは命第一の行動が素早くできるという、この２点さえ抑えてもらえればいいのではないかと思うわけです。

しかし、一方で政治や行政は平時においてこそ有事を想定した備えというものをこつこつしていく必要があると考えます。私は、芦北町防災対策１００年の体系なるものを、この際考えてほしいと思っております。これは超長期にわたる継続性の高い防災対策を想定するものです。日奈久断層帯の活動に起因する、想定される大地震は、私たちの代では来ないかもしれない。これはこれで非常に結構なことですが、しかしその後、どこかの世代で必ず来るわけでありますから、今から備えを継続していくレールを敷いておくことは決して無駄ではないわけでありまして、不幸にもＸデーに遭遇した私たちの子孫は、必ずや私たちの備えに感謝する日が来ると信じております。

先の熊本地震や、これまでの全国で発生した地震を基に、熊本モデルあるいは芦北モデルとして、防災対策をしっかり確立し、備えを長期にわたって継続していく。そして、未来の子孫に警鐘を鳴らしていくべきだと思うわけです。

町長の御所見をお願い申し上げます。

○議長（宮内道則君）　竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　お説のとおりでありまして、今回の御質問、また御提言につきましては、しっかりとですね、受け止めまして、実を挙げるような対策に今後も努めてまいりたいと思います。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　よろしくお願いしたいと思います。

引き続き、通告書２について、再質問いたします。

企画財政課長にお尋ねします。先ほどは吉尾地域の人口の推移をお尋ねしましたが、本町全体の人口の推移はどうなっていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

町全体の人口につきましては、旧田浦町、旧芦北町の合併日を基準にお答えさせていただきます。

合併日である平成１７年１月１日の人口が２万１，９５０人、平成２６年１月１日の人口が１万９，１４２人、令和６年１月１日の人口が１万５，２８４人となっており、合併当時と比較しますと３０．３％減少しております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ありがとうございます。

次に、ＪＲ肥薩線でございますけれども、この路線が鉄道により復旧した場合、熊本県と関係市町村の災害復旧費及び復旧後の運行経費の費用負担はどのようになりますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

令和５年１１月に、熊本県から、災害復旧費の関係市町村負担分については熊本県が全額負担する提案が示され、運行経費については国の補助制度や過疎債を最大限に活用し、熊本県と関係市町村の負担割合を肥薩おれんじ鉄道並みに支援するとの案が示されております。

本町の負担額につきましては、関係市町村負担分約５，０００万円のうち、八代市と人吉市が約４，２００万円を負担し、約８００万円を沿線１０町村で負担することとなると見込まれておるところであります。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次にですね、私は令和４年の６月議会で、ふれあいツクールバスの路線やダイヤについて質問をさせていただきましたけれども、令和５年に実施したふれあいツクールバス、白石大岩線の試験運行の結果はどうだったのか教えてください。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

令和５年８月７日から令和５年８月３１日までの期間で、役場を１５時３０分に出発し、白石公民館に１６時４５分に到着する便、２１便の試験運行を行っております。その間の利用者につきまして、延べ２６人の利用で、１便平均１．２４人となっており、増便するための条件を満たしませんでしたので、運行の実現には至っておりません。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　それでですね、今後のふれあいツクールバスの運用方針はどう考えているのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　今後のふれあいツクールバスにつきましては、現行の運行形態が適正であるか確認するため、運行時間等の住民ニーズを調査する目的で試験運行等を実施し、実態の把握に努め、時間の変更等を柔軟に行ってまいります。

なお、白石大岩線につきましては、吉尾診療所の送迎バスの運行が本年３月末で終了することに伴い、ふれあいツクールバスの従来の利用客に加えて、通院客の利便性を図るため、午前中に帰宅可能な便を増便するとともに、全てを児童生徒との混乗便ではなく、専用便として運行する予定です。

また、白石大岩線に接続する黒岩線につきましても、通院客の利便性向上のため、週１日の運行を週２日に変更する予定です。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ふれあいツクールバスはですね、充実していただけるということで、有り難いことだと思っております。

次にですね、現在工事中である瀬戸石ダム通路橋工事や白石地区嵩上げ工事に伴い交通規制が行われておりますけれども、規制の状態並びに解除予想はどうなっていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君）　お答えいたします。

令和２年７月豪雨で被災した電源開発が管理する瀬戸石ダムの通路橋は、令和５年１０月１日から令和８年５月３１日までの期間、復旧工事により全面通行止めとなっております。なお、出水期の６月１日から９月２０日の期間は工事を中断するため、地元の許可車両及び緊急車両は通行できると伺っております。

次に、白石地区嵩上げ工事に伴う交通規制につきましては、集落内の県道一勝地神瀬線が通行止めとなりますが、現在、ＪＲ肥薩線敷地内に仮設道路を設置し、令和６年２月２５日から供用開始しているところでございます。

なお、嵩上げ工事の完成予定といたしましては令和６年度を見込んでおり、その後、集落内の県道につきましては、供用開始できると伺っておるところでございます。以上です。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次に、道路についてですけれども、黒岩上原に至る町道において、離合箇所を増やす考えはありませんか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君）　お答えいたします。

黒岩から上原及び海路につながる町道につきましては、まず舗装工事や落石防護

柵の設置工事を行っていきたいと考えております。その後、通行量など状況を見ながら、離合箇所については検討してまいります。以上です。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次にですね、吉尾大橋建設促進の取組はどうなっていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

吉尾大橋の建設促進につきましては、平成８年度から吉尾大橋架橋促進連絡協議会において、国・県等に要望活動を行ってまいりました。しかしながら、令和２年７月豪雨災害により、吉尾大橋架橋を取り巻く状況が大きく変化いたしました。

そのようなことから、協議会において、吉尾大橋架橋の将来的な建設という目的は堅持しつつ、まずは神瀬橋の復旧・復興及び球磨川流域治水プロジェクトを最優先に推進させることが活動方針として決議されました。そのようなことから、現在、要望活動は休止しております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次にですね、大河内紙ですね、この件でございますけど、製造を復活させ、確か２０年以上経っておりまして、卒業証書にも活用されておりましたけれども、現在はどうなっていますか。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

大河内紙につきましては、小中学生の卒業証書や焼酎のラベル等に使用するために製造されてきました。製造に携わられている大河内紙保存会の会員数の減少、高齢化などにより、製造が本年度からできない状態となっております。

そのような中、町内の有志の方がその伝統的技術が途絶えることを惜しみ、その技法を継承するための取組を始められております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次に、大岩地区の村づくり協議会の活動はどうなっておりますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

大岩地区村づくり協議会につきましては、大岩地区の活性化を目的に、永谷、大岩１、大岩２、岩屋川内、黒岩行政区で構成される地域活性化団体で、現在も活動を継続されております。

令和５年度におきましても、地域コミュニティ活性化のため、グラウンドゴルフ

大会、ホウ酸団子作り、小正月行事を実施されているところでございます。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次にですね、清流かじかの会の活動はどうなっていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

清流かじかの会につきましては、吉尾地区の活性化を目的に、地域の有志の方々で組織されている団体でございます。以前は、吉尾あゆまつりなどが行われていましたが、現在は会員数の減少や高齢化など、また令和２年７月豪雨災害の影響により、活動を休止されております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　今後の地域おこし協力隊の充実・強化についてはどのように考えているか、お尋ねしたいと思います。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

地域おこし協力隊の充実・強化につきましては、これは総務省も推奨し、財源措置も手厚いことから、地域の活性化や課題解決、移住定住の切り札として取り組んでいきたいと考えております。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　次に、山村振興計画というものがございます。これはどのように位置づけられていますか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

山村振興計画につきましては、旧吉尾村と旧大野村が、山村振興法に基づき、昭和４３年度に振興山村の指定を受けたことに伴い、振興山村の事業推進のため昭和４４年度に策定され、現在に至る計画でございます。現在、計画におきましては、本地域の振興の目標を達成するため、農林業所得の向上のための基盤づくり、地域間交流を促進する社会基盤整備、移住定住の促進、安心して暮らせる環境づくりの４点を重点目標とし、本地域の振興を図っているところでございます。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　最後の質問になります。

デジタル田園都市国家構想では、地域振興をどのように捉えているのか、お尋ねします。

○議長（宮内道則君）　白坂企画財政課長。

○企画財政課長（白坂達也君）　お答えいたします。

デジタル田園都市国家構想につきましては、地方に顕在する人口減少、少子高齢化、過疎化、東京圏への一極集中、地域産業の空洞化などの課題解決を目標に、都市とは違った利便性と魅力を備えた新たな地域づくりを実現するため、暮らしや産業などの領域で、デジタルの恩恵を全国の地域に届けていくことを目指す構想でございます。

その構想におきましては、地方自らが目指す社会の姿を描き、自主的・主体的に構想の実現に向けた取組を推進するとされており、各自治体がデジタルによる地域振興で、目指すべき将来ビジョンを独自に描くこととなります。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　御答弁、ありがとうございました。

それでは、この質問２をまとめてみたいと思います。

今回はやや細かな質問をさせていただきましたけれども、その趣旨はただ一つでありまして、吉尾地域を元気にしたい、応援したいということなのです。そして、政治と行政は吉尾地域をこれからもしっかり面倒見ていきますということを発信したかったからであります。純粋に何とか夢と希望を与えたい、吉尾の皆さんと一緒に地域の将来を考えたいと思ったからであります。執行部におきましては、今回御答弁いただいたことをしっかり実行していただきたいと要望しておきたいと思います。

また、御答弁いただいた以外でも、いろいろ取組はあろうかと思います。例えば、吉尾にもサテライトオフィスの拠点を造れないのか、あるいは優先確保を支援して地域の集いの場にできないか、地域おこし協力隊にしましても、パソコン・スマホの学習指導や有害鳥獣駆除業務、農林業補助業務、旧吉尾小学校管理活用業務、ＳＮＳによる日本語・英語情報発信業務等々、魅力的で地域振興につながる業務内容を提示することにより、応募者が増えるようにしていただきたいわけであります。

人口減などの諸減少を客観的に見て、地域の皆様にはやや失礼かもしれませんが、行政区としての機能や公民館活動などについて、地域の力が落ちていることは否めないわけでございまして、この点をどうにかしなければならないことは喫緊の課題であろうと思います。いわゆる自助の力、共助の力が落ちた地域に対する公助の力はどのようにあるべきか、これらをもっと突き詰めて御検討いただきいと思うわけです。これから先、地区によっては共助の力が崩壊することも現実として考えられます。そうなったならば、その地区は町直轄地区とならざるを得ないわけでありまして、それはやはり行政運営にも支障を来すのではと危惧するものです。このような地域を活性化するための大きなポイントは、やはり外の血をどんどん入れること

ではないかと考えます。刺激を与え、エネルギーをもう一度蓄積してもらわねばなりません。

我が町は、これまで合併を繰り返してきました。吉尾地域におきましては、１８８９年（明治２２年）、町村制施行により大岩村、黒岩村、上原村、海路村、吉尾村、箙瀬村が合併して、吉尾村が発足しております。１９５５年（昭和３０年）、佐敷町、大野村、吉尾村が合併し、芦北町が発足しましたが、このときの芦北の芦は葦北郡の葦であります。１９７０年（昭和４５年）、芦北町と湯浦町が合併し、現在の漢字の芦北町となりました。そして、２００５年（平成１７年）、芦北町と田浦町が合併し、現在に至っているわけです。

このような経緯から、我が町には大きく田浦文化圏、吉尾文化圏、大野文化圏、芦北文化圏、湯浦文化圏が厳然と存在しておるのでありまして、それぞれの文化・伝統を重んじ、それぞれを平等の立場で尊重した多様性のある集合体こそが芦北町であることを再認識しなければならないということを強く申し上げたいわけであります。

日本は未だに東京一極集中が続いておりますが、それでいいのでしょうか。私は、この現象に非常なる危うさを感じてしまうのであります。正しい方向であるとは決して思えないのです。地方創生、国土の均衡ある発展に逆行しています。政策的に何か間違っているような気がしてなりません。我が町も一種日本の縮図です。何もしなければ街部に物事は集中し、周辺地域は衰退するという構図は全く変わりません。私は、一極集中ではなく、多極分散の中に社会の安定と平穏とこの持続性を求められないのだろうかと考えますし、郷土の均衡ある発展と自然との共生、人間らしい暮らしを求めるという方向性があってもいいのではと感じております。答弁にありましたデジタル田園都市国家構想のデジタルの活用で、地域課題の解決につながる可能性もあると思いますので、是非御検討をお願いしておきたいと思います。

人は本能的に、生まれ育ったところで死にたいと思うものです。これらの人々に対し、不便でしょうが便利な町中心部へ下りてきてくださいなど言えるのでしょうか。私は、不便だろうが何だろうが、そこに住み続けたいという人がいる限り、最後の最後まで山村集落に寄り添ってやらねばならないのではないかと思います。

吉尾の夜空に大輪の花火を打ち上げたい、この思いを話しましたら、吉尾には商工会がありません、山が火事になりますと言われました。野暮なことは言うなと思ったんです。否定から入るのは良くないことです。まず、その夢を肯定してほしい。夢があることが大事なんです。

町長はいみじくも、先の佐敷城復興まつりの御挨拶で申されました。まつりを見れば、地域が元気かどうかが分かると。その通りであります。吉尾地域を元気にし

てやらねばなりません。町長の御所見をお願いいたします。

○議長（宮内道則君）　竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　かつて吉尾地域は、芦北町の地域おこしの先頭を走っていた地区でもあります。熊大の当時の上野眞也教授あるいは山中進教授、地方と大学との地域形成、これを研究テーマとして、先生方はゼミのグループを引き連れて、吉尾地区に寝泊まりをして、随分の時間を要して研究をされたわけでありまして、ワークショップも開かれました。私も参加したことがございます。そのときに提言したことを、行政側としてできることから積極的に取り組んでまいりました。当時の賑わいは出張所に２年間勤務しておった楠原議員であれば、十分御理解いただけると思います。まさに、地域おこしの先鞭を切ったわけで、それから町内各所に地域おこしのグループができてまいりまして、活気を呈したわけでありますが、ただいま話がありましたように、一極集中主義、これが一向に是正されず、目指す農耕併進型の均衡ある国土発展が望めない状況、依然として続いております。地方の発展あってこそ、我が国はしっかりした基盤に支えられて発展しているという信念は、まさに共通のものをもっておるわけでございますので、今後とも、そういうことを念頭において取り組んでまいりたいと思いますが、当面は災害からの復旧・復興に全力を尽くしてまいります。

しかし、その後の各地域、町の在り方、もうすでに取り組んではおりますけれどもですね、フェーズがどんどん変わっておりますので、いよいよその件についても取り組んでいかなければいけないと思います。特に第一次産業では吉尾地域、大岩地域は、第一次産業、基盤整備が必要でございますので、まずは生業の再建をしっかり果たしていくと。生活再建のほうは、冒頭答弁をいたしましたように、これがもうすでに充足されつつございますので、これからは生業でありますが、如何せん、圃場整備を中心にやるわけでありますけれども、これにはやはり採択から工事を実施して完成まで、やはり２年から３年かかるわけであります。さらに、土壌の、いわゆる地力の回復、これにも時間がかかるわけであります。地道な戦いがこれから始まるわけでございますが、御提言を参考にですね、共に頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（宮内道則君）　楠原君。

○２番（楠原清照君）　ありがとうございました。

これで、私の質問を終わります。

○議長（宮内道則君）　楠原君の質問が終わりました。

ここで、しばらく休憩をいたします。１１時２０分から会議を再開します。よろしくお願いいたします。

－－－－－－－○－－－－－－－

休憩　午前１１時０９分

再開　午前１１時２０分

－－－－－－－○－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、川尻君。

○１０番（川尻成美君）　それでは、一般質問を行います。

令和６年第１回目の定例会の一般質問においては、２つの問題について質問をいたします。

１つは漁業振興策について、２つに災害に備えた防災・減災対策について、町長、担当課長に質問をいたします。

まず、漁業振興策についてであります。近年の漁業経営は、漁獲高の減少は著しく、併せて燃料価格の高騰、これは大きな出費であります。また、漁業従事者の高齢化が進みまして、後継者不足は本当に悩める課題でもあります。まだまだ諸問題も多く、漁業経営は大変な危機になっているといって過言ではありません。そこで、町行政として、漁協や漁業者のこの状況を踏まえ、どう把握しておられるのか、１回目の質問であります。

次に、町が定めた未来につなげる芦北町農林漁業振興基本条例でありますが、この２条に本町の基幹産業としての農林業の振興を図るものとするということが明記されております。参考に、農林漁業の多様な役割を十分認識し、生産の基となる豊かな自然環境の再生を保全の取組を進めると規定してあります。本町の基幹産業として位置づけてある漁業は、これに対して町としてどのような支援策を講じておられるのか、２回目の質問であります。

３回目の質問は、県との連携した取組について、具体的にどうなっているのかでありますが、単町として限られた予算の中での振興費であります。十分わかってはおりますが、県・国のほうとタイアップしながら、その施策を町に充実させていただきたい、こういう思いで竹﨑町長のこれまでの政治手腕が生かされてくるというふうに信じております。さらなる振興策を講じていただきたい、こういう思いであります。

第２の質問は、災害に備えた防災・減災対策について質問します。先ほど、１番バッターで楠原議員が質問されましたので、重複する点も多々あるかも知れませんが、御了承いただきたいというふうに思います。

そこで、今、こういう現状の中で、国・県はもとより、地方自治体においても災害に備えた対策の準備を進めているところであります。本町では、令和６年度の施

政方針の中で、地域防災力の向上を図ると明言されました。具体的にどのような取組か説明をいただきたいというふうに思います。また、防災拠点センター整備基本計画を行い、防災体制の強化を図ると説明もありました。そういうことで、内容の説明をいただきたいと思います。

３点目は、今年１月１日夕方に発生しました能登半島地震において、まずは亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの方々、今なお避難生活を多くの方がされております。衷心よりお見舞いを申し上げる次第でございます。この地震において、古い木造家屋の倒壊が多く見られ、その倒壊で被災した方々が４０数パーセントという、先ほどの答弁でございました。対策を今後講じていかなければなりませんので、その対策が減災につながることと思いますし、これが一番重要なことだと私は考えております。古い木造住宅家屋の耐震への対応はどうなっているのか質問をいたします。また、耐震化に要する費用等について、補助の考えはないものか質問するものであります。

以上、２つの問題について質問いたしましたが、生命・財産を守るための備え、これは不可欠でありますし、また安心して住める生業が不可欠だというふうに思いますので、どうか町長の、また担当課の明快な答弁を求めて、１回目の質問といたします。

○議長（宮内道則君）　川尻君の１回目の質問が終わりました。答弁を求めます。竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　川尻議員の御質問にお答えをいたします。

質問の主題１の漁業振興策につきましては、漁獲量の減少や担い手不足等、全国共通の課題であります。本町におきましても、喫緊の課題、問題であります。そのため、従来から漁協の意見をお伺いしながら、県とも連携をし、対策を講じておるところでございます。新しい動きでは、育てる水産業として、これまでのカキ等の養殖に加えまして、アサリの生産に取り組んでおります。関係漁業者も大いに期待をしておるわけでございます。今後、町も積極的に関与してまいりたいと思います。

なお、具体的な内容及び残余の質問につきましては、担当課長から答弁させます。

○議長（宮内道則君）　栫農林水産課長。

○農林水産課長（栫　浩之君）　質問の主題１の①について、お答えをいたします。

漁協が合併をいたしました平成２６年度との比較を申し上げますと、組合員数が１５０人が令和５年度には１０７人に減少しております。また、漁獲量も３２６ｔが、令和４年度は２１６ｔに減少しております。組合員の高齢化、後継者不足に加え、気候変動などに伴う漁獲量の減少は、町の水産業にとって依然厳しいものと感じております。

次に、②と③は関連をいたしますので、併せてお答えいたします。

町の支援策につきましては、漁業経営の安定や漁業者の負担軽減を図るため、漁船保険事業、船揚げ施設利用促進事業、水産物加工販売等促進事業、漁船機械修繕事業等に対し、補助金を交付しております。また、コロナ禍燃油価格高騰に対しては、コロナ交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症対応水産業振興補助金、漁船用燃油価格高騰対策事業補助金を交付いたしました。

県との連携した取組につきましては、放流事業、海底耕耘事業、漁礁造成事業、アマモ場の再生事業、各種養殖事業を実施しております。

アサリの生産につきましては、令和４年度より稚貝調査及び食害生物からの保護のための被覆網の設置を行い、本町で１２年振りにアサリ２２０㎏を漁獲しました。令和５年度は、被覆網を増設し、順調な生育が確認されており、さらに多くの漁獲を見込んでいるところでございます。

漁業者の所得向上を図るため、関係団体との連携を図りながら、実効性のある取組が実施できるよう、今後も推進してまいります。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　御質問、主題２の①について、お答えいたします。

まず、地域防災力の定義につきましては、消防団を中核とした地域防災力の充実・強化に関する法律に規定がございまして、要約をいたしますと、地域住民と各機関、関係団体が各自の役割を認識し連携することで生まれる防災体制及び災害対応力ということになります。

地域防災力の向上に関しましては、各地区に共助の仕組みをつくること、町の防災体制、災害対応力を強化するということに尽きると思いますけれども、ソフト・ハード対策を複合的に実施することが肝要であると認識をしております。

具体的には、先ほどの答弁と重複をいたしますけれども、ソフト面では災害等に対応するための各種マニュアルの作成、地震・津波・大雨を想定した避難訓練、地区防災計画の策定支援、災害時協力事業所登録制度、地域防災力強化補助金、防災士資格取得補助金のほか、避難所環境の向上や防災倉庫の設置などを行っております。また、地域防災の中核となります消防団については、資機材の充実や団員の処遇改善に取り組んでいるところです。

ハード面では、役場庁舎への非常用発電機の設置、令和６年度から２年間で行う防災無線の更新事業、防災拠点センター整備の検討などを進めております。

次に、②についてお答えいたします。

防災拠点センターについては、令和４年度９月補正予算において、基本計画策定に関する委託料を御承認いただき、事業に着手しております。令和５年度では、地

質調査、アスベスト調査、測量設計を行いました。

防災センターの機能に関しましては、１つ目に警戒監視体制の強化及び災害対策本部設置に係る機能の確保、２つ目に災害時の受援体制をスムーズにするための機能の確保、３つ目に物資拠点とするための機能の確保、以上３つの機能を有する拠点を整備する計画となります。令和６年度においては、基本設計業務の予算をお願いしているところでございます。以上です。

○議長（宮内道則君）　鎌倉建設課長。

○建設課長（鎌倉博之君）　質問の主題２の③について、お答えします。

本町におきましては、昭和５６年５月３１日以前に建築された木造住宅に対し、耐震化に対する相談や補助を行っており、内容につきましては申請者が行う耐震診断、耐震補強設計、耐震改修工事及び耐震シェルター等設置工事に要する費用に対して、国・県及び町で補助を行っています。

これまでの実績としまして、耐震シェルター設置工事に対する補助を令和元年度に１件行っております。これまでも、まちだよりや広報あしきたを通じて周知を行っておりますが、今後もさらに周知を図ってまいります。以上です。

○議長（宮内道則君）　川尻君。

○１０番（川尻成美君）　それでは、第１の漁業振興策についてから追質問でございます。

私も漁協の参事、組合長とも懇談をさせていただきました。大変、町長からの支援は有り難いものであるという、組合長の言葉でありましたので、お伝えをしておきます。然るにですね、生業として今、漁業というのが成り立っていくのかというのを、私は頭に入れておりましたので、どうにかこれは単町だけの事業では立っていかない。要するに、海をもつ、この八代海、天草も含めて、広域的に今４工区あるのですかね、漁協の管轄のエリアが。合併論も出ているというふうに思いますけれども、なかなか進んでいないようでありますが、果たして合併してどうなるものでもないような感じがいたします。

そこで、先ほど荒川県議の一般質問の件がありましたが、私も存じ上げておりますし、今、中継録画で見られますので、見ました。そこで、漁業振興に対しては、蒲島知事のほうが直接答弁をされておりました。私もテレビでも、さかなクンですかね、がこっちに来て、いろんなイメージというか、キャラクターを出してやるというようなことでありますが、今からが今後この漁業の発展に対して、寄与するものとは思いますけども、まずはハード的なものでですね、組合長とも話したんですけども、何が一番大事と思いますかということであったんですけども、私も帰っておりましたら、やはりですね、この佐敷港というか、沿岸部でご覧のとおり、今、

私のところから町のほうを見まして、河口口ですね、湯の浦川、佐敷川の河口口を見ますと、もう近くなってですね、浅くてどうにもならない状況、もう何回か質問もしましたけども、この水害によって相当な土砂が堆積しておりますし、木々も大分もう腐れてですね、おりますけども、浅くなっている。その中でアサリの放流をいたしますけども、何とかやっぱり浚渫という形で、この港湾をですね、しないと、１０年後、２０年後、まあ半世紀後のことを考えてやらないとだめじゃないかという形であって、やはりそういう長期計画を立ててやるべきというふうに思っております。そういう中で、一番の課題はそういう計画を乗せるということが大事じゃないかなというふうに思います。

１０年ぐらい前ですね、一回そういう浚渫のことがあったんですけども、漁師の方々が全会一致でしてくれということはできなかったものですから、頓挫してしまいましたけども、組合長のほうもそう言われておりました。そういうことでですね、浚渫をまず一番の課題にしないといけない。要するに、藻場の育成、豊穣の海とされておりましたこの湾郷が、藻場があって、産卵をして、稚魚が育っていく。だから、一番格好の場所だったんですよね。それをやっぱり再生しないと、魚は増えないというふうに思いますので、そういう計画を立ててやらないといけないというふうに思います。そういうことでですね、やっぱりまず単町で力を入れてもらわなければいけないのはそういうことだというふうに思います。

２番目は、やっぱり広域的な連合でですね、規制とかヨシでの産卵時期は操業を休むとか、この事業報告にも期間等書いてありますけれども、なかなかそれが徹底しないんじゃないかと思いますし、芦北海域ではちりめん等も、天草には全然漁獲量は追い付かない、獲れないという状況でありますので、その点の海はつながっておりますので、広域的な連合をですね、町長の今、県の町村会長でもあられますし、お父様は前、漁連の会長もされた関係上、顔も広いというふうに思いますので、その点のほうも、この２点をまず、町長答弁いただきたいと思います。

○議長（宮内道則君）　竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　おっしゃるとおり、漁業は深刻な状況にありまして、うたせ船を見るだけでも分かると思います。かつての船の数は激減しておりまして、もう海で働く方々がもう陸に上がってくるというような状況でございまして、これは日本列島全域で漁獲高は右肩下がりでありまして、これにつきましては国も取り組んでおる状況であります。

本町におきましても、漁業振興のために予算措置もしておりますけども、一番の原因はですね、やっぱり気候変動ですね。この気候変動で、つい最近の情報では、熊本県ではありませんけれども、年間に獲れる魚種、ある一つの魚種が１日で獲れ

たということでありまして、こういうことはもう初めてだと。そして、もう１００年も２００年も獲れていた魚が全く獲れなくなったという状況であります。海水温が確実に上がっているのも間違いないということであります。そのため、漁獲量も漁獲高も激減をしておるという中であります。

そこで、本町としては、栽培漁業、作る漁業に力を入れようと、シフトしようということで、カキの養殖、これも少しずつ安定しつつございますが、まだまだ今の年間５ｔ前後のこの量をですね、倍には上げないと、やはり先ほど申されました所得にはですね、なかなか大きく反映されないということ。アサリにつきましては、アサリも昨年２２０㎏余でございましたけれども、今年の見込みは５ｔ前後いくであろうということで、これは短時間でですね、かなりの成果を出しておりますので、これも１０ｔぐらいにはいかなければいけないということです。そのためには土壌改良も必要でありまして、海底耕耘は毎年やっております。やっぱり海底耕耘をやれば効果があるというですね、声も出ておりまして、これは継続してやろうかなと思っておりますが、その河口口の堆積土砂、少し行きますとですね、もう２０ｍぐらい堆積しておるということで、過去の堆積物ですね。これは大変でありまして、県のほうにも働きかけをですね、常にやっておりますけれども、特に近年は災害復旧・復興優先でですね、まずそちらを優先してやると、こちらは少し待ってくれということです。

かつて川尻議員が、澪筋の浚渫をやってくれということでですね、もう船さえも入れない状況でございましたので、そこはまた対応していただいたわけですが、しかしまた溜まっておるという状況です。ここはもう重要なこととしてですね、捉えてまいりたい。要は、この気候変動にはあらがえない部分もございますが、そういう中でいかにですね、生業として少しでも立っていけるかということで、栽培漁業のほうにも力を入れていく。そしてまた、稚魚の放流事業にも力を入れていくということ、それと二次加工品のほうが付加価値を高めることができますので、その辺もこれは取り組んでおりますが、まだ取組の最中でございまして、これが原価がすぐコストに反映できるんですね、利益を。この二次加工というのは非常に魅力があるところでございますので、そういうところも含めて総合的に県とも連携しながら取り組んでまいりたいと思います。

○議長（宮内道則君）　川尻君。

○１０番（川尻成美君）　やはり国・県との連携、これがやっぱり一番大事かなというふうに思います。町長おっしゃるとおり、世界中温暖化の中で、今ずっと南におった魚が北に上っていっているのは、もう現状御存知のとおりでありますし、獲れない魚種が熱帯魚みたいなのがこちらでも見られます。それは気候変動、まさにその

通りでありますけども、自然にはどうにも勝てないものですから、それはそれとしてどうすべきかという対応が善処することだというふうに思います。

また、その環境という形の中では、沖の三ツ島よりも沖のほうを海底の掃除をやっております。私も見たこともありますし、こちらのほうは一緒に掃除をしますけども、何せ故意に捨てることじゃないとは思うんですけども、前も言ったことがありますけども、プラスチックごみ等の海に浮かんでいる姿を見ると、もう残念でならないわけであって、その関係は啓発はやっておられると思いますけども、町としてそういう対応はどんな状況だと思われますか。

○議長（宮内道則君）　竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　さっきの御質問の答弁と重なるところもございますが、この浮遊ごみもございます。漂着ごみもあります。それと、不知火海で深刻なのがですね、海底ごみなんです。関係者の方によりますと、不知火海はですね、ごみの墓場と言われておりまして、特に鹿児島県域の海域に出ていくところは、あそこに集中しておるということでありまして、相当なごみが沈んでおるという状況下であります。このこともですね、不知火海のいわゆる海の環境に大きな影響を出しておりますので、先ほど個々で取り組む部分もございますが、広域でやったらどうかということで、すでにですね、呼びかけをしておるんです。県にも提言をしております。これは環不知火海サミットをしようと、そして各漁協、各首長、各議会からですね、関係者が寄って、どうするかやろうと。

そして、この八代海、正式には八代海なんですが、八代海、有明海ですね、ここの振興、再生復興を図ろうということで、有明八代海の再生振興法ができまして、法律ができておるんですね。ところが、実際にですね、その海底の清掃関係にしましても、それに対応する掃海艇ですけれども、これは１艘しかおりませんね。そして、能力が低いということで、もうほとんどですね、これがこの広域では機能できない状況です。これを盛んに、法律ができとるのに、何でできんのかということをですね、声高に言っとるわけでありますが、おっしゃるとおり、広域で取り組まなければいけないということで、今後とも環不知火海のですね、そういう対策の組織をつくろうじゃないかということは呼びかけてまいりたいなというふうに思います。

なお、熊本県の漁獲高はですね、うろこ漁につきましては、これも低迷しておりまして、今、大半を占めているのがのり漁業なんですね。ですから、それが中心で熊本県の漁業は動いています。うろこ漁というのはかなり水揚げも落ちております。それは頑張っても頑張っても獲れないんです。そこには、先ほども申しました要因があるということでありますから、改めてまた別の切り口から取り組んでいく必要もあると思います。

○議長（宮内道則君）　川尻君。

○１０番（川尻成美君）　町長のほうもよく理解をされておられるようでございますので、今答弁されました広域的なことは、是非期待を申し上げて、頑張っていただければというふうに思っております。

要するに、農業とは違って、漁業は種をまけば、苗を植えれば、半年、１年で収穫ができるというものではないということを基本に入れておかないと、やはり長期なスパンで計画を実行していく。アサリの放流がもう毎年、県の補助等もありまして、放流事業もクルマエビとかヒラメの放流事業もありますけども、今、水中カメラのほうもできてですね、アサリのほうはなぜ育たないのだろうかといったら、エイですね、今。エイとチヌの放流したアサリ等はもう全滅という状況を阻止するために、今度は、今課長も答弁されましたけども、網をしてですね、それが今、功を奏しているようでございますけども、もとのですね、干潟に何百名という貝掘りが見られることをですね、やっぱりどうしたらいいんだろうかということを、まず漁業組合従事者が知恵を出してくださいと、私も言ってきましたけども、そういうことで町も十分な配慮をお願いし、そして何とかですね、従事者が止まるように、今、観光うたせも３艘しかいないというふうに聞いておりますし、うたせ船も８艘しかいないということで、もう先は見えているような感じがするという報告でございましたので、表紙等にも芦北のＰＲでうたせ船、海の貴婦人という形でＰＲしてありますけども、なかなかそれが消えていくのは非常に心が痛むような感じがいたしますので、答弁は要りませんけども、そういうことで漁業振興の方はお願いをしておきたいというふうに思っております。

次に、災害に対する備え、防災減災の対策でありますけども、ある程度、楠原議員のほうで、私ももう答弁でだいたい理解をいたしましたけども、今、ちょうどですね、新聞の報道であったんですけども、耐震化率は蒲島知事も言っておられましたけども、県全体８９．１％か何かという形で、芦北町は５０何％やったですかね。

そういう形の中で、耐震化率は今後高めていくためにどういう方法を、あるのはあると思いますけども、補助金とかですね。条例もあると思うんですけども、どういう方法でやっていかれるのか。これはやっぱり早期に木造家屋の耐震のほうは確立しなければいけないと思いますが、それからすべきじゃないかと思いますが、いかがですか。

○議長（宮内道則君）　松本総務課長。

○総務課長（松本俊造君）　お答えいたします。

先ほど耐震化率についてはですね、ここに２９年の調査になりますので、その時点で５８．２％という推計をしております。その後、令和２年の７月豪雨等もござ

いまして、古い家屋の解体でありますとか、新築も進んでおりますので、若干上昇はしているものと推察はしております。

おっしゃるとおり、地震がありましたら、まずは家の中でですね、安全を確保するということで、やはり家の耐震化をしっかり図っていくということが大事かと思います。それで、今現在、補助事業でもですね、建設課の方で所管してございますので、まずは耐震診断をしていただいて、その後ですね、大きな工事になりますと費用もかかってまいりますけれども、今月号の広報紙でも周知をいたしますけれども、耐震シェルターというものがございますので、やはり家の中で安全な場所をつくっていただくという意味では、耐震診断をしていただいた上で耐震シェルターの普及促進を図っていくということが何より大事かなというふうに思っておりますし、また津波等がある場合にはですね、やはり逃げるというふうなことの常態化ということが必要ですので、この２つをやはり喫緊の課題として進めていきたいというふうに思っております。

○議長（宮内道則君）　川尻君。

○１０番（川尻成美君）　いわゆる１００％まではいかないと思いますが、新築はですね、建築基準法が年々年々地震のあるたびに改革されて、改善されておりますのでいいかと思います。いいとは言いませんけども、そういう形でありますけども、そういう耐震化の方は、古い木造住宅は特に斡旋して、調査を、診断をしてもらう、これが不可欠ですので、どうかその点は早めに、いつ起こるか分からないわけですので、お願いしたいというふうに思います。

また、熊日新聞の方であったんですけども、瓦屋根の改修に補助金事業広がるというような形もあってですね、要するに地震が来ますと、瓦が落ちて、人災につながる可能性もあるということで、県内ではまだ制度化がゼロだそうで、町長、いかがでしょうかね。こういうのも試してみてはというか、備えとして。

○議長（宮内道則君）　竹﨑町長。

○町長（竹﨑一成君）　東日本大震災のときもですね、瓦による被害、家屋の倒壊で、いろいろと影響があったようですが、その後ですね、新築されるところは瓦葺きをやめるということで、瓦屋さんがかなりもう廃業されたということもあり、その辺の問題もありましてですね、瓦のみならず、総じて補助制度がございますし、また一番いいのは、耐震シェルターなんですよ。これは広報紙でも御案内をしましたけども、ここ何年ですか、５、６年で１件しかないわけですね。それで、いろんな方にお聞きしますとですね。もうそのときはそのときという人が圧倒的に多い。これはちょっとあまりいい言い方じゃありませんけど、そういう人が、聞くとですね、おられるわけですよ。ですから、非常に理解し普及させるのが困難な状況でありま

す。しかし、大事な部分ではありますので、もっともっとちょっと策を練ってまいりたいというふうに思います。

○議長（宮内道則君）　川尻君。

○１０番（川尻成美君）　併せて、水道管耐震の遅れ、県内は遅れているということも新聞で見られたと思います。これは西日本新聞ですけども、ちなみに１０．２％しかないというような形で、芦北町ですね。適合率がですね。適合率が１０．２％ということで、今、全町、老朽化した水道管の下水道で、水道管の改修をやっておられますけども、そういう形でこういうのもやっぱり耐震のライフラインのメインになりますので、こういうのも必要かなというふうなことで、頭に入れていただければなというふうに思っております。

そういう中でですね、備えあれば憂いなしという言葉がありますように、やはり啓発活動というのが大事でありましょうし、要するに家財道具が倒壊しないつっかい棒のいろんなものが今できておりますので、そういう形、備えた形でですね、啓発をしていかないといけないんじゃないかと思います。やはり地震に対して知識を入れて、我が家は我が家なりにしているところもありますけども、やっぱり高齢者等の存在もありますので、今度新しく防災拠点センターとしての整備基本計画もできるようでありますし、そういう中でですね、やっぱりその中に入れてやらなければいけないというふうに思いますし、やっぱり自主防災組織も各地で今、ほとんどできていますけども、その機能がどうなるのかというのが一番大事でありますので、そういうことも防災の中で、やはり避難経路等も周知するという、そういう形が大きな人命の尊重になろうというふうに思いますので、どうか今日は２人がこの防災減災の方は質問をしてきましたので、さらに総務課所管の中ではよろしくお願いをしておきたいというふうに思います。どうかそういう意味でですね、生命と財産、そして一番の命を守るための町としての方策をしっかりとして住民の安全・安心な地域にやっていただければというふうに思います。

以上申し上げ、私の質問を終わります。

○議長（宮内道則君）　川尻君の質問が終わりました。

なお、林田君の一般質問は、正午が過ぎておりますけれども、最後まで行いますので御了承ください。林田君。

○４番（林田燿宏君）　もう昼で、お腹もすいたなと思っておりまして、皆様には大変申し訳ございませんけど、あとしばらくお待ちください。

今回は、児童・生徒の通学路のこと１点でございますので、あとしばらくお待ちください。

議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

まずは、本年お正月に発生した能登半島地震でお亡くなりになられました方々に心からお悔やみ申し上げます。また、被害に遭われた皆様方に心からお見舞い申し上げます。

先日、３日に開催されました令和５年度最後の復興まつり、佐敷城下まつりが無事、盛会のうちに終了いたしました。当日は、担当職員の皆さんにもお手伝いをいただき、改めまして芦北町と議会の皆様には感謝と御礼を申し上げます。

今回は、将来を担う児童・生徒の安全・安心ということを取り上げましたが、健全育成ということに関しましては、先のまつりの子どもたちも見ていましたけども、先日開催されました空手のうたせ杯では１，０００人を超す子どもたちが参加し、頼もしく思い、そして元気をいただきました。本当に健やかに育ってほしいなと思っております。

それでは、本題に入らせていただきます。いよいよ卒業・入学の時期がやってまいりました。今年も春の交通安全週間が４月６日から始まります。本日は、本町における通学路の安全対策について質問させていただきます。

その通学路に関しましては、先日、緑のリボン賞を受賞されました白岩地区の皆様には、本当におめでとうございました。また、長年お疲れ様でございます。心から敬意を表します。

また、この通学路の一般質問につきましては、平成２５年と平成３０年に川尻議員から質問がなされております。しかしながら、最近も昨年の令和５年６月に千葉県八街市において、下校中の児童の列にトラックが衝突し、５名が死傷するという痛ましい事故が発生しています。また、つい先日、この通告書の締切日３月５日の午後、福岡県の春日市で小学６年生の女児３名がはねられるという痛ましい事故が起こっております。

そこで、最初の質問でございます。①通学路で子どもたちが巻き込まれる交通事故は、全国で後を絶たない状況であります。子どもたちの命を守るため、教育委員会として通学路の安全確保の対策をどのように取り組んでいるのかお尋ねいたします。

それから、令和４年度の県下の交通事故数は３，１７５件で、そのうち高齢者運転者の第１当事者となった事故数が７８６件の２４．７％でありました。今後、高齢化社会の中にあって、子どもたちの交通の安全に関する危険も高まっていると考えます。

そこで、②車両から子どもたちの通学路の安全を守るために、地域や学校で取り組んでいる具体的な対策をお尋ねします。

次に、参考までに、県内の町村の面積と学校数を調べてみました。ちなみに、芦

北町は２３４㎢で、県内町村では３番目に広い面積であります。１番目は山都町の５４４．６７㎢、２番が五木村の２５２．９２㎢でございました。また、学校数は小中合わせて、芦北町は８校と、また山都町が９校と２番目に多い学校となっております。８校ということでありましたら、大津と菊陽町も同じ同数でありました。何を言いたいかといいますと、芦北町は県下でも広いし、学校数も多いということで、やはり通学するにはスクールバスは欠かせないと思ったからでございます。

そこで、③現在、町で運用しているスクールバスの所有数は何台か。また、児童・生徒の交通安全のため、当該スクールバスのさらなる活用を行う考えはないかお尋ねいたします。

これで、壇上からの質問を終わります。

○議長（宮内道則君）　林田君の１回目の質問が終わりました。答弁を求めます。岩田教育長。

○教育長（岩田繁義君）　林田議員の御質問の①について、お答えいたします。

登下校中の児童・生徒が死傷する痛ましい交通事故が全国で相次いで発生したことを受けまして、本町では平成２７年に国土交通省、県、警察等の関係者で構成する芦北町通学路安全推進会議を立ち上げ、芦北町通学路安全プログラムを策定し、現在に至るまで、各地区の通学路における問題箇所を議題として、現地確認を行い、改善を図ってまいりました。

令和５年度におきましても、通学路における改善要望箇所が学校から出されており、対応が必要なもの等に関しましては、関係機関との緊密な連携を行い、対応を行っております。引き続き、子どもたちの登下校における安全の確保に取り組んでいるところでございます。

次に、②についてお答えします。

登下校時の交通事故防止については、多くの自治体の喫緊の課題であります。地域や学校の取組としまして、ＰＴＡや教職員による横断歩道箇所や登下校への付添いなどの朝の交通安全指導、そして新聞でも取り上げられました佐敷小学校区をはじめとした地域による見守り運動の実施、また各学校で定める学校安全計画に基づき、警察と連携した交通安全教室等の取組がなされているところでございます。

次に、③についてお答えします。

スクールバスとして運用しております車両は、２９人乗りバスを１７台、１０人乗りスクールカーを４台保有しています。また、活用については、これまで学校統合した校区の児童・生徒を乗車対象としておりましたが、令和６年度から乗車対象地域を一部拡大することで、さらなる登下校の安全確保を図ることとしているところでございます。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　それでは、２回目の質問をさせていただきます。

ただいま各地の通学路は現地調査をしたり、改善をされたということでございまして、令和５年度も改善の要望があったということとの答弁でございました。その今年度における改善の要望の箇所というのはどれくらいあったのか、またその内容について、分かったらちょっとお願いいたします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　お答えをいたします。

令和５年度における通学路安全点検会議の改善要求箇所は３０箇所でございました。内容は、朝夕の通勤時の交通量上昇に対する注意喚起、歩道に生い茂る草木の伐採、通学路の白線の引き直しなど、警察への指導、取締り強化の要望が８件、白線の引き直しが５件、その他道路整備に関するもの１７件となっておりまして、いずれにおきましても関係機関と連携を取り、今後の対応を進めているところでございます。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　改善要望箇所が３０箇所ということであります。結構多いなと思っております。その関係機関と緊密な連携ということは、対応していると、今言われましたけども、その危険箇所の改善というのはされたんでしょうかと思います。そしてまた、その改善されたところの例を教えていただければと思いますけど、お願いします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　お答えいたします。

過去に湯浦小学校の校門付近の通学路におきまして、通学路の歩行者通行帯を区分するため、青いラインで表示を行いまして、ドライバーに注意喚起を行うなどの措置を町のほうが行っております。

また、本年度は佐敷小学校周辺の交差点になりますけれども、県道２７号芦北球磨線でございますが、多くの児童が渡ります横断歩道、これを強調するための道路標示の施工が県により行われております。これにより、歩行者がいるということをドライバーに対して注意を促す効果が期待されるものというふうに考えております。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　そうですね。私たちも運転しますので、雨の日なんか特にですね、ドライバーに注意喚起をするということは、ラインとか、最近、緑のラインとか流行っていますけども、大変必要だと思っております。

質問２につきましてはですね、先ほど言われましたＰＴＡや教職員が各地でよく本当、私もよく見ます。冒頭でありましたように、緑のリボン賞をいただいた白岩地区とかあります。私も仕事柄、よく芦北インターを朝方使うんですけども、よく佐敷小の前のほうではジャンパーを着てですね、立っておられまして、本当に頭が下がる思いがいたします。

そして、それでは３についてですね、２回目の質問をさせていただきます。先ほどスクールバスの保有数は２１台ということでございましたけども、山都町は面積は倍でございますけど、２６台あるということでございます。その面からすると、芦北町は比率としたら多いなと思っております。

そして、答弁では令和６年度からスクールバスの拡充をするということでありましたけども、現在、スクールバスには何人ぐらい乗車しているのかの現状をまず教えていただきたいと思います。そして、スクールバスのその乗車の範囲を拡大した地域を教えていただければと思います。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　お答えをいたします。

現在、スクールバスを利用している児童・生徒につきましては、小学生が２０５名、中学生が５０名、合計の２５５名になります。乗車範囲を拡大する地区につきましては、佐敷小学校区においては通学路の通行車両が多く、徒歩で３０分以上かかる地区であります諏訪地区、宮浦地区、八幡地区、芦北地区及び花東地区の五本松団地周辺、田浦中学校区では、これまで公共交通機関を利用して登下校を行っていた海浦地区、佐敷中学校区ではシカなどの遭遇事案が多発している牛渕地区、田川地区と、湯浦中学校区の女島地区、丸山地区、米田地区、この合計１１地区を新たな対象地区としております。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　１１地区と、新たな地区が対象とされまして、大変広がったなと思っております。

今回の拡大によって、その利用の方法でございますけども、例えば小学生と中学生が一緒に乗っているという例はありますでしょうか、お願いします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　小中学生が混乗する路線としましては、田浦中学校区の大岩横居木地区や、杉迫井牟田地区、湯浦中学校区の古石地区、尾奈古地区は、これまでも小中学生混乗にて利用をしております。

今回の見直しにより、新たに混乗する路線につきましては、田浦中学校区の海浦地区になります。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　今までもあったということで、しかしさらに見直しをされたということで、本当にこのスクールバスの路線というのは、いろいろ張り巡らせてあって、大変だなと思っております。本当お疲れ様でございます。

私たちの地域からしますとですね、平生が一番遠いわけですけど、湯浦小学校区はですね。昔は平生地区の人は歩いてきていまして、元気な人が多かったですね、やっぱり学校でもですね。そういうことでありましたけども、今回、スクールバスで範囲が広がったということでありますので、児童や保護者にとっては、特に雨の日あたりは有り難いと思いますけども、でも反面ですね、運動面とか体力面がやっぱり心配になるのかなということも少し思いますけども、その辺のところは保護者からとか、意見とか要望とかなかったでしょうか。ちょっとお伺いします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　お答えをいたします。

昨年５月にですね、スクールバスについての保護者アンケートを行っております。議員御指摘のとおり、その結果の中には体力養成のために徒歩や自転車で行かせたいと、通学させたいという声も一部ありました。しかし、遠距離である地区の保護者の多くから、スクールバスに乗せてほしいという要望がありましたので、児童・生徒の安全面を考え、今回の拡充を行ったところです。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　そうですね。やっぱり多くからはですね、やっぱり安全面とか考えたら、またそういうことが多いかなと思います。

それでは、スクールバスの乗車に関してですけども、例えば家庭で、うちは歩いて行ったがいいとか、例えば中学校だったら自転車がいいとかいう家庭もおられると思いますけども、そういう選択をすることはできるのでしょうか。そしてまた、乗車をする場合には、申請が必要なのか、そしてまた乗車の際、どこか待合場所を決めて乗るのかとか、そこに集まる必要がありますけども、そこをちょっと細かく教えていただければと思います。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　まず、通学方法の選択についてでございますけれども、小学生は登校班単位で登下校を行っておりますので、１人だけ歩いて登校するということは、安全を確保する上でですね、控えていただくようにお願いをしているところです。

中学生に関しては、登校班がなくですね、部活動等の関係もございますので、遠方からでも自転車で通学することを選択することは可能となっております。

次に、申請につきましてですけれども、スクールバスを利用する児童・生徒は、乗車名簿を作る必要がありますので、申請が必要となります。

また、待合場所については、乗車する子どもたちが確実に集まっているかを確認するため、地域単位で待合場所を定め、乗車のたびにですね、きちんと乗車できているかをチェックすることとしております。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　それは安心でございますね。やっぱり保育園で一時ですね、取り残されたという事件もありましたので。それから、さらなる要望活動としてですね、例えば静岡県の下田市辺りでは、天候不順になったときに、急に学校を早く終わるということで対応して、例えば授業を切り上げて下校されるということになったときに、そういうバスを使うということもあるようでございますけども、本町ではどのようにその対応をされていますか、お尋ねいたします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　お答えをいたします。

台風や大雨などですね、天候不良が予測される場合には、下校時に荒天とならないようにですね、子どもたちが被害に遭わないように、早めに下校時間の切上げを決定しまして、スクールバスを使用して通常の下校を行っております。

しかし、気象の急激な変化で子どもたちの下校時に荒天となった場合にはですね、学校引き渡しと、保護者の方に来ていただいて学校引き渡しを行ってですね、保護者の方に学校まで迎えに来ていただくというふうなこととしております。これにつきましては、降雨時期に備え、例年、各学校におきまして引き渡し訓練として、保護者と保護者を加えた訓練を行っているところでございます。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　なるほど、それは確かにですね、すごいなと思います。学校引き渡しというのは私も初めて聞きましたけども、そこまでしていただければですね、有り難いなと思います。また、訓練をしているということも初めて聞きまして、ありがとうございました。

ところで、その通学路の確保についてはですね、先ほど交通事故の面だけではなくて、平成３０年６月に発生した大阪北部地震において、震度６弱の激しい地震で、小学４年生の女の子が下敷きになって死亡したという例がありました。先ほどの安全対策会議ですかね、あれで交通事故の面だけではなくてですね、その他の危険性についても、教育委員会、保護者とのアンテナをですね、張っていただたければと思っております。先ほどの要望箇所３０箇所の中に、ブロック塀に関する改善要望というのは出されていたのかお尋ねいたします。

○議長（宮内道則君）　田代教育課長。

○教育課長（田代　忍君）　本年度の危険箇所においてはですね、ブロック塀に関する学校からの改善要望は出されておりません。ただし、過去にはですね、２箇所、ブロック塀の倒壊の恐れのある箇所がありましたが、これはすでに撤去されております。今後も引き続き、安全対策を図ってまいりたいというふうに思っております。以上です。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　そうですね。ブロック塀２箇所ということで、改善済みということでありまして、仕事が早いなと思っておりますけど。

ブロック塀の事故はですね、昨年でもあっております。２３年の９月に福井県の鯖江市でですね、通学途中の小学生が倒れてきた住宅のブロック塀に足を挟まれて、また再度そういう事故があって大怪我をした事故が起こっております。やはり、地域でも老朽化した、そういうブロックが多いんじゃないかなと思っておりますけども、それでは教育長にですね、最後にちょっと、児童・生徒の安全対策について、見解をお聞かせいただければと思いますけど、お願いします。

○議長（宮内道則君）　岩田教育長。

○教育長（岩田繁義君）　議員の御提案がありましたとおり、小中学校における児童・生徒の通学路の確保につきましては、私どもが整備すべき最も優先度の高い事項であると認識をしているところでございます。

教育委員会が掲げております学校教育目標の中に、安全・安心な教育環境の推進を設けております。この中で、通学路安全プログラムによる通学路の安全点検及びスクールバス運行による児童・生徒の登下校時の安全確保を明記しておりまして、長期計画の重要事項として位置づけているところでございます。令和６年度からのスクールバス乗車範囲の拡大につきましても、この一つの要因としているところでございます。

これからも、利便性の向上もさることながら、不幸にも事故が起こってしまった原因や教訓等を生かして、将来ある子どもたちを安全に登下校させることを、私どもの責務として考え、通学路の安全・安心につきまして、今後も取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

○議長（宮内道則君）　林田君。

○４番（林田燿宏君）　御答弁、ありがとうございました。

本日は、町のスローガンでもあります、将来を担う子どもたちを守るための、そのための一つとして交通安全対策について質問させていただきました。しっかり対応していただきまして、ありがとうございます。

報道でもありますようにですね、令和５年度の出生率は令和４年度の１．２６を下回る１．２０台と、出生率は７２万6，４１６名と、過去最低となっております。昔から、子は宝といいます。国の将来、元気は子どもの数にもよります。この国の発展のバロメーターでもあると思っております。

芦北町では、そんな子どもをど真ん中に据えた施策がなされておりまして、このことを町民の皆さんにも知っていただきましてですね、これからも家庭、地域、学校、そして町と連携し、力を合わせて、可能な限り、子どもたちの成長を私もお手伝いしたいなと思っております。子どもの元気は町の元気であります。どうか引き続き、子どもたちのためによろしくお願いいたします。

これで、私の質問を終わります。皆さん、お腹すきまして、申し訳ございませんでしたね。

○議長（宮内道則君）　林田君の質問が終わりました。

これで、一般質問を終わります。

なお、本日は正午を過ぎまして、大変執行部並びに議員各位には御協力ありがとうございました。

以上をもちまして、散会いたします。

御苦労様でした。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

散会　午後０時２９分

令和６年第１回芦北町議会定例会議事日程（第３号）

令和６年３月１３日
午前１０時　開　議
於　　議　　場

１　議事日程

（一括議題＝日程第１から日程第１１まで）

第　１　議案第　４号　令和６年度芦北町一般会計予算
第　２　議案第　５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算
第　３　議案第　６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算
第　４　議案第　７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算
第　５　議案第　８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算
第　６　議案第　９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算
第　７　議案第１０号　令和６年度芦北町水道事業会計予算
第　８　議案第１１号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算
第　９　議案第１２号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について
第１０　議案第１３号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について
第１１　議案第１４号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について
第１２　発議第　１号　芦北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について
第１３　議員派遣の件

（一括議題＝日程第１４から日程第１７まで）

第１４　総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出
第１５　建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出
第１６　議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出
第１７　議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出
（閉　会）

２　出席議員（１３人）

１番　百　田　翔　吾　君	２番　楠　原　清　照　君
３番　長　口　　隆　君	４番　林　田　燿　宏　君
５番　坂　本　　登　君	６番　寺　本　順　一　君
７番　白　坂　康　浩　君	８番　草　野　安　道　君

9番	宮尾秀行 君	10番	川尻成美 君
11番	寺本修一 君	13番	元山秀志 君
14番	宮内道則 君		

3　欠席議員（１人）

12番　岡部惠美子 君

4　説明のため出席した者の職氏名（１７人）

町長	竹﨑一成 君	副町長	藤崎正司 君
教育長	岩田繁義 君	総務課長	松本俊造 君
企画財政課長	白坂達也 君	税務課長	佐竹貴幸 君
住民生活課長	長﨑十三男 君	福祉課長	池田康浩 君
健康増進課長	田中公広 君	農林水産課長	栫　浩之 君
商工観光課長	釜辰信 君	建設課長	鎌倉博之 君
上下水道課長	平田秀臣 君	教育課長	田代　忍 君
ｽﾎﾟｰﾂ・文化振興課長	岡田謙治 君	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ課長	上野孝司 君
会計管理者兼会計室長	溝俣圭一 君		

5　職務のため出席した事務局職員の職氏名（２人）

議会事務局長	窪田和彦 君	次長(主幹)	鎌田富士夫 君

議員派遣の件

次のとおり議員を派遣する。

１　町村議会議長・副議長研修会（全国町村議会議長会）

期　　日　令和６年５月２１日（火）

場　　所　東京国際フォーラム（東京）

目　　的　分権時代に対応する議会の活性化に資するため

派遣議員　元山副議長

２　町村議会議長・副議長による県関係国会議員への要望活動（熊本県町村議会議長会）

期　　日　令和６年５月２２日（水）

場　　所　ホテルグランドアーク半蔵門（東京）

目　　的　定期総会決議事項等要望

派遣議員　元山副議長

令和６年３月１３日

芦北町議会議長　　宮　内　道　則

開会　午前１０時００分

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　おはようございます。

直ちに本日の会議を開きます。

岡部君から欠席届が出ております。

本日の日程は、お手元に配付しております議事日程のとおりであります。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第　１　議案第　４号　令和６年度芦北町一般会計予算

第　２　議案第　５号　令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算

第　３　議案第　６号　令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算

第　４　議案第　７号　令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算

第　５　議案第　８号　令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算

第　６　議案第　９号　令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算

第　７　議案第１０号　令和６年度芦北町水道事業会計予算

第　８　議案第１１号　令和６年度芦北町下水道事業会計予算

第　９　議案第１２号　公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について

第１０　議案第１３号　芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について

第１１　議案第１４号　芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第１、議案第４号「令和６年度芦北町一般会計予算」から日程第１１、議案第１４号「芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について」までを一括議題といたします。

それでは、定例会初日に各常任委員会に付託をしておりましたので、委員長に報告を求めます。質疑は、２人の委員長報告を終了した後、一括して行います。

はじめに、林田総務厚生常任委員長。

○総務厚生常任委員長（林田燿宏君）　おはようございます。

総務厚生常任委員長報告を申し上げます。

本定例会初日に、当委員会に付託されました令和６年度予算関係４議案及び新規条例制定２議案について、３月１日及び４日に審査を行いましたので、その経過及び結果を御報告いたします。

まず、令和６年度の一般会計予算総額は、前年度に対し１３億５，０００万円減の１２５億３，０００万円となっております。

特別会計は、５会計の合計で、前年度に対し１億５，９００万円増の６０億２，９００万円が計上され、一般会計、特別会計、水道事業会計及び新規の下水道事業会

計を合わせた予算総額は１９２億９，５００万円となり、引き続き令和２年７月豪雨災害の復旧・復興を第一に、最終年度となる第２次芦北町総合計画に基づく予算編成が行われています。

なお、審査過程における各種事業については、主なものを申し上げます。

はじめに、議案第４号、令和６年度芦北町一般会計予算について申し上げます。

総務課では、前年度に対し６億９，４４８万５，０００円増の２３億４，３０８万４，０００円が計上されています。増額の主な要因は、令和６年度から２年間で行う防災行政無線整備工事及び高機能指令センター更新工事に伴う水俣芦北広域行政事務組合負担金などの増によるものです。

そのほか国が施行する白石地区宅地嵩上げ事業に伴う白石集会所解体・建設工事や令和７年１月２２日任期満了の町長選挙に係る経費などが計上されています。

主な質疑を申し上げます。町の防災拠点センターにおいての質疑があり、令和２年７月豪雨を踏まえ、警戒監視機能、受援体制構築のための機能、物資拠点機能の３つの機能をもつ施設として計画を進めており、令和４年度に基本計画策定、令和５年度に測量設計や地質調査を行い、令和６年度は基本設計を予定しているとの答弁がありました。

また、ＤＸ推進事業の標準化・共通化移行業務についての質疑があり、国が住民サービスを向上させる取組を迅速化させる目的で進めており、自治体毎に異なるシステムを標準仕様に適合したシステムへ改修するものであり、令和６年度は住民記録、国民健康保険、住民税など、特に住民生活に直結する１６業務について改修を行うとの答弁がありました。

次に、企画財政課では、前年度に対し５，８０７万８，０００円増の１６億６，７５８万１，０００円が計上されています。増額の主な要因は、公債費の元金償還の増によるものです。

地方創生事業では、令和５年度に整備した移住体験住宅を活用し、引き続き移住定住施策に取り組まれています。

主な質疑を申し上げます。すまい支援事業における宅地嵩上げの実績や補助対象について質疑があり、令和４年度５５件、令和５年度１４件の実績があり、補助対象は被災者及び浸水想定区域内に嵩上げして新築する者としており、令和６年度は２０件分を予算計上しているとの答弁がありました。

また、地域おこし協力隊員について質疑があり、財源措置も手厚いことから、移住定住策の一つとして取り組みたいと考えており、令和６年度は新たに農林水産課及び商工観光課で計１０人の配置を予定しているとの答弁がありました。

次に、税務課では、歳入予算として、前年度に対し９，０４５万円減の２０億１，

６２３万５，０００円が計上されています。

町税については、令和２年７月豪雨や新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあるものの、新年度に実施される個人住民税の定額減税の影響や固定資産税の償却資産において減収が見込まれるとの説明がありました。

また、歳出につきましては、前年度に対し６６１万５，０００円増の１億３，５１６万７，０００円が計上されています。

主な質疑を申し上げます。軽自動車税の歳入について質疑があり、課税台数は約９，２００台で、買い替えによる新税率適用車両への移行が進んでおり増額を見込んでいるとの答弁がありました。

次に、会計室では、前年度に対し１７８万２，０００円増の９８４万４，０００円が計上されています。増額の主な要因は、公金振込手数料や口座振替データ伝送業務に係る経費の新規計上によるものです。

主な質疑を申し上げます。口座振替データ伝送業務を委託した場合、業務改善が図られるのかとの質疑に対し、委託後は５つの金融機関分をまとめて１つのデータとして作成し、代行業者を通してやり取りを行うため、口座振替業務に要する時間が短縮されるとの答弁がありました。

次に、議会事務局では、前年度に対し２３１万４，０００円増の１億１，０１４万８，０００円が計上されています。増額の主な要因は、退職手当組合負担金などの増によるものです。

主な質疑を申し上げます。議会でのタブレット利用など、ＤＸ推進についての質疑があり、町のＤＸ推進との調整を図りながら導入時期等を見極めて進めていきたいとの答弁がありました。

次に、福祉課では、前年度に対し１，７３７万６，０００円増の２４億４，９０５万３，０００円が計上されています。増額の主な要因は、障害者生活支援事業における利用対象者の増加などによるものです。

児童福祉では、子ども医療費及び副食費の助成に加え、令和６年度から保育料の完全無償化を実施し、更なる子育て環境の充実に取り組まれています。

主な質疑について申し上げます。令和２年７月豪雨災害で被災された方の生活再建の見通しについて質疑があり、令和６年３月１日現在、女島仮設住宅に２世帯、みなし仮設住宅に２世帯、町営住宅に１世帯入居されているが、令和６年度中に全世帯、生活再建を果たされる見込みであるとの答弁がありました。

また、温泉公衆浴場無料及び割引入浴券について質疑があり、高齢者や障害者の憩いの場の提供を目的に実施している事業であり、令和６年度からの入浴料改定に伴い、申請交付率や使用実績を勘案し、予算の範囲内において、入浴券２５０円の

２０枚とする見直しを行ったとの答弁がありました。

次に、健康増進課では、前年度に対し８７９万７，０００円増の２億２，０５８万７，０００円が計上されています。増額の主な要因は、出産・子育て応援給付金に係る扶助費などの増によるものです。

第４期芦北町健康づくり推進計画に基づき、新たに１歳児歯科健診や帯状疱疹予防接種助成、ワンコイン健診を実施し、疾病予防や支援の拡充を図っていくとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。新年度実施するワンコイン健診の具体的な内容について質疑があり、集団健診、個別検診の個人負担金を減額し、１健診全て５００円に統一したワンコイン健診とし、わかりやすい料金体系とすることで健診受診者の増加に取り組むとの答弁がありました。

次に、住民生活課では、前年度に対し８，６１６万６，０００円増の１４億５，２６９万８，０００円が計上されています。増額の主な要因は、後期高齢者医療事業の療養給付費増加に伴う負担金及び水俣芦北広域行政事務組合へのごみ処理費負担金などの増によるものです。

主な質疑を申し上げます。マイナンバーカードの普及率やマイナ保険証の登録者数についての質疑があり、マイナンバーカード普及率は、１月末現在１万２，４６７件交付の７９．２９％、また国保被保険者３，８０７人中２，５０６人がマイナンバーカードを保険証として紐づけされているとの説明がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第４号、令和６年度芦北町一般会計予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第５号、令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算について申し上げます。

前年度に対し、７，１００万円増の３０億２，１００万円が計上されています。増額の主な要因は、１人当たりの医療費の増額に伴う療養給付費や被保険者証廃止に伴うシステム改修費などの増によるものです。

国民健康保険事業では、１８歳以下の子どもに係る均等割額を引き続き全額減免し、子育て世帯の支援を図るとともに、資産割額を廃止した課税方式を実施するとの説明がありました。

主な質疑を申し上げます。国民健康保険税の軽減割合の状況について質疑があり、予算編成時の保険税医療分均等割では、被保険者４，０５６人に対し、７割軽減１，５４９人、５割軽減８５８人、２割軽減５２３人の２，９３０人であるとの答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第５号については、全会一致で原案のとおり可決

すべきものと決しました。

次に、議案第６号、令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算について申し上げます。

前年度に対し３，３００万円増の２４億５，５００万円が計上されています。

介護保険事業では、芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、新たにＵＤｅースポーツによるＤＸ推進・交流促進事業やＧＰＳを利用した認知症高齢者等位置情報システム利用助成事業などに取り組むとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。新規事業の高齢者見守りシールについて質疑があり、家族からの申請により、認知症など徘徊の可能性がある高齢者にＱＲコードシールを衣類等に貼り、外出先で気づいた人がＱＲコードを読み取った時点で家族に連絡が届く仕組みであるとの答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第６号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第９号、令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算について申し上げます。

前年度に対し４，５００万円増の３億８，０００万円が計上されています。増額の主な要因は、保険料改定による後期高齢者医療広域連合納付金の増によるものです。

以上、質疑及び討論もなく、議案第９号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第１２号、公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について申し上げます。

本案は、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の規定に基づき、令和６年４月から職員を公益財団法人熊本県市町村振興協会へ派遣することに伴い条例を新たに制定するもので、職員派遣に関して必要な事項を規定しているとの説明がありました。

以上、質疑及び討論もなく、議案第１２号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第１３号、芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について申し上げます。

本案は、犯罪被害者等の支援を総合的かつ計画的に推進し、町民が安心して暮らすことができる社会を実現するため、犯罪被害者等の支援の基本となる事項等について定める条例を新たに制定するものです。

主な質疑を申し上げます。条例に規定されている見舞金に関して質疑があり、故意に人を死傷させる犯罪被害を対象とし、支給額等詳細については条例可決後、規則で定めるとの説明がありました。

以上、討論もなく、議案第１３号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、総務厚生常任委員長報告を終わります。

○議長（宮内道則君）　次に、草野建設経済文教常任委員長。

○建設経済文教常任委員長（草野安道君）　おはようございます。

建設経済文教常任委員長報告を申し上げます。

本定例会初日に当委員会に付託されました令和６年度予算関係５議案及び新規条例制定１議案について、現地調査も含め３月１日と４日に審査を行いましたので、その経過及び結果を報告いたします。

なお、審査過程における各種事業については主なものを申し上げます。

はじめに、議案第４号、令和６年度芦北町一般会計予算について申し上げます。

まず、建設課では、前年度に対し１９億４，１３４万２，０００円減の１６億８０９万１，０００円が計上されています。減額の主な要因は、地域優良賃貸住宅建設工事及び災害復旧工事等の進捗によるものです。

豪雨災害で被災した道路・河川の早期完了を最優先として取り組まれ、また橋りょうの老朽化対策や町道の計画的な改良・維持修繕等により、交通基盤の安全確保に努められます。

公営住宅については、安全で快適な住環境の維持のため、計画的な補修・更新等が行われます。

主な質疑として、自転車走行空間整備工事とはどのような工事かとの質疑に対し、サイクリングルートに指定された町道の舗装打ち換えや矢羽根の設置、防草対策として土羽のコンクリート打設等を行うとの答弁がありました。

次に、上下水道課では、前年度に対し３，２５３万８，０００円減の１億３，４７９万５，０００円が計上されています。減額の主な要因は、下水道事業会計への繰出金の減によるものです。

浄化槽設置整備事業において、合併浄化槽３５基分の補助金が計上されています。

次に、商工観光課では、前年度に対し１億１，２１８万２，０００円減の６億５２６万３，０００円が計上されています。減額の主な要因は、あしきたマリンパーク再整備事業に伴う工事等の進捗によるものです。

商工業振興については、ＩＴ人材の育成及び地場企業と進出企業との連携によるＤＸ推進のほか、商工業経営者の高齢化対策として事業承継のニーズ調査が行われ、事業継続の支援が図られます。

観光施設については、御立岬マリンハウスや芦北町物産館等の計画的な補修・老朽化対策が行われます。

あしきたマリンパーク再整備事業については、旧国民年金保養センター解体跡地の整備により、観光関連企業の誘致に取り組まれます。

主な質疑として、地域おこし協力隊はどのような活動を行うのかとの質疑に対し、今回５人の協力隊員を募集し、商工振興では人材育成やＤＸ推進に２人、観光振興では大野温泉センターの活性化に２人、芦北海浜総合公園の活性化に１人を配置し、各種事業に取り組むとの答弁がありました。

次に、農林水産課では、前年度に対し１億８６４万１，０００円減の６億５，２３３万８，０００円が計上されています。減額の主な要因は、製材所機械導入への補助金の減及び災害復旧事業の進捗によるものです。

農業振興では、引き続き人材の確保・育成のため耕作支援が実施され、果樹振興では、園内道整備や優良品種の苗木導入などへの支援を継続、またＪＡあしきたが事業主体となり、新規就農者等の園地確保を目的とした新規事業が実施されます。

林業振興では、地域おこし協力隊員が４人募集され、自伐型林業の推進が図られます。

有害鳥獣被害対策では、有害鳥獣被害防止対策協議会と連携し、引き続き被害防除、捕獲、環境整備などの対策に取り組まれます。

漁業振興では、ヒラメやクマエビなどの稚魚放流による漁獲の増加や、アサリ・マガキなどの生産支援が行われ、漁業者の所得向上が図られます。

主な質疑として、有害鳥獣対策で国の交付金を活用した防護柵設置予定の４地区はどこかとの質疑に対し、宮浦地区、八幡地区、鶴田地区、大岩地区であるとの答弁がありました。

次に、教育課では、前年度に対し１億２８１万７，０００円減の６億４，５１６万７，０００円が計上されています。減額の主な要因は、小学校のトイレ改修工事の完了によるものです。

学校教育については、ＩＣＴ機器を活用した効率的・効果的な授業の推進に取り組まれるとともに、不登校対策として子ども自立支援室を拡充し、誰一人取り残さない学びの保障に努められます。

学習環境については、学校施設の適切な維持管理に努め、計画的な整備が図られます。

主な質疑として、ＡＬＴの活用による英語の成果は出ているのかとの質疑に対し、中学生はＡＬＴとの対話の中で、簡単な日常会話ができるようになってきており、小学生は英語が楽しいと答える子どもが増え、英語に対する興味・関心が向上しているとの答弁がありました。

次に、スポーツ・文化振興課では、前年度に対し５，７３０万７，０００円増の２

億６，１６３万２，０００円が計上されています。増額の主な要因は、新規に実施する湯浦運動公園照明のＬＥＤ化工事によるものです。

スポーツの振興では、競技力向上と生涯スポーツの振興を図り、文化振興では、演能会や文化祭等の開催により意識の高揚や文化活動の振興を図り、文化財の保存・調査では、佐敷城跡周辺の環境整備と、佐敷東の城跡の史料調査に引き続き取り組まれます。

主な質疑として、体育施設費の電気料予算の積算方法はとの質疑に対し、役場庁舎や町管理の施設全体の見込額を算定して予算化しているとの答弁がありました。

次に、コミュニティセンター課については、前年度に対し１，８４７万３，０００円増の１億６，６１２万３，０００円が計上されています。増額の主な要因は、職員や会計年度任用職員の人件費の増によるものです。

世代間・地域間の交流と学びの場として、施設の魅力向上と快適な利用環境の提供に努められます。

主な質疑として、図書の年間購入冊数と古くなった本の取扱いはとの質疑に対し、年間２，０００冊から３，０００冊購入しており、古くなった本は除籍・廃棄基準要項の規定により管理しているとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第４号、令和６年度芦北町一般会計予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第７号、令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算について申し上げます。

各施設の快適な利用環境を確保するための予算が計上されており、歳出総額は１億４，９００万円、前年度比１，２００万円、８．８％の増となっています。

委員からは、光熱水費や燃料費の高騰で、今回入浴料を改定したということを利用者に周知してほしいとの要望があり、担当課からは温泉施設内に掲示し、周知を図りたいとの答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第７号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第８号、令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算について申し上げます。

歳出総額は、前年度同額の２，４００万円となっております。

主な質疑として、今後、町に在住する者を要件とした返還不要の奨学金制度などを検討していく考えはないかとの質疑に対し、教育の問題だけでなく関係各課と連携し支援を検討したいとの答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第８号については、全会一致で原案のとおり可決

すべきものと決しました。

次に、議案第１０号、令和６年度芦北町水道事業会計予算について申し上げます。

予算総額は３億４，８００万円、前年度比４．１％の減となっています。安全・安心な水道水の供給のため、老朽化した水道管や施設の計画的な更新が図られます。

主な質疑として、今後老朽化した水道管の増加が予想されるが、布設替え等の年次計画の内容はとの質疑に対し、毎年６，０００万円程度の工事を行っているが、定期的に見直しを行いながら長期的な計画で実施していきたいとの答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第１０号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第１１号、令和６年度芦北町下水道事業会計予算について申し上げます。

予算総額は３億８，８００万円となっています。令和６年度から農業集落排水事業と生活排水処理事業の２つの特別会計が公営企業会計へ移行し、引き続き施設の長寿命化及び適切な維持管理に努められ、持続可能な運営に取り組まれます。

以上、質疑及び討論もなく、議案第１１号は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第１４号、芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について申し上げます。

企業としての経済性を発揮し、公共の福祉を増進するため、令和６年４月１日より、下水道事業が官庁会計から地方公営企業法を適用した公営企業会計に移行されます。

本案は、農業集落排水事業及び生活排水処理事業に地方公営企業会計を適用するため制定するものであるとの説明がありました。

以上、質疑及び討論もなく、議案第１４号は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、建設経済文教常任委員長報告を終わります。

○議長（宮内道則君）　委員長報告が終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を一括して行います。質疑はありませんか。川尻君。

○１０番（川尻成美君）　建設経済文教常任委員長、ただいま報告をいただきましたが、２点、具体的にちょっと知りたくて、質疑を申し上げます。

建設課所管の中で、自転車走行空間整備事業がございますけども、予算も大幅に３００万円が去年、今年は２，５００万円という大幅な増になっております。この

中でルートがちょっと知りたいものですから、その点、詳しく質疑があったなら教えていただきたいと思います。

２点目は、農林水産課所管の有害鳥獣対策ですけども、非常に生産者から有害鳥獣で悩んでいるという相談はあちこちで聞きますが、この協議会というのがつくられております。連携してやるということですけども、箱罠という形で４か所でするのは書いてありますけども、協議会の内容等、あれば教えていただきたいと思います。

○議長（宮内道則君）　草野君。

○建設経済文教常任委員長（草野安道君）　川尻議員の質問にお答えしたいと思います。

自転車走行空間工事のルート等の説明ということですが、具体的な説明はありました。具体的な説明としては、ＪＲ八代駅から道の駅みなまたまでの区間を、総延長８０㎞、そのうち芦北管内のルートは約３６㎞であるとの説明があっております。

それに対し、前年度の３００万円は委託料でありまして、今年度はその空間整備工事を実施する予算計上をしているとの説明があっております。

また、２点目の有害鳥獣対策協議会との連携についてですが、具体的な内容としては、令和５年度から捕獲期間において捕獲補助金を交付して、年間を通じて捕獲していいということで、シカの捕獲頭数が大幅となっており、令和６年２月現在でイノシシ１，１４３頭、ニホンシカ２，０８０頭の、合計３，２２３頭の捕獲実績を上げております。

また、新規免許取得者も４０人を超えて実績を上げ、今年度も大いに増えるのじゃなかろうかということで予算化しております。

また、令和６年度の新たな事業については、委員長報告で報告しましたが、大型防護柵の設置が４地区に配置されておりますので、大幅な予算となっております。

以上です。

○議長（宮内道則君）　ほかにございませんでしょうか。川尻君。

○１０番（川尻成美君）　自転車走行のルートを、芦北３６㎞とありましたが、これは３号線じゃなくて、海岸線でしょう。そこを詳しく聞かんとちょっと分かりませんので。

○議長（宮内道則君）　草野君。

○建設経済文教常任委員長（草野安道君）　これは３号線ではありません。海岸道路、女島地区から水俣に抜けとる海岸道路ですね、あっちのほうのルートをサイクリングルートとしてするということでございます。

○議長（宮内道則君）　ほかにございませんでしょうか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　ほかに質疑はありませんので、これで質疑を終わります。

これから議案第４号から議案第１４号までを、順次討論を行い、採決します。

日程第１、議案第４号、令和６年度芦北町一般会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第４号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第４号は原案のとおり可決されました。

日程第２、議案第５号、令和６年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第５号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第５号は原案のとおり可決されました。

日程第３、議案第６号、令和６年度芦北町介護保険事業特別会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第６号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第６号は原案のとおり可決されました。

日程第４、議案第７号、令和６年度芦北町有温泉事業特別会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第７号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であり

ます。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第７号は原案のとおり可決されました。

日程第５、議案第８号、令和６年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第８号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第８号は原案のとおり可決されました。

日程第６、議案第９号、令和６年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第９号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第９号は原案のとおり可決されました。

日程第７、議案第１０号、令和６年度芦北町水道事業会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１０号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１０号は原案のとおり可決されました。

日程第８、議案第１１号、令和６年度芦北町下水道事業会計予算について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１１号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１１号は原案のとおり可決されました。

日程第９、議案第１２号、公益的法人等への芦北町職員の派遣等に関する条例の制定について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１２号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１２号は原案のとおり可決されました。

日程第１０、議案第１３号、芦北町犯罪被害者等支援条例の制定について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１３号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１３号は原案のとおり可決されました。

日程第１１、議案第１４号、芦北町下水道事業の設置等に関する条例の制定について、討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから議案第１４号を採決します。お諮りします。委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議案第１４号は原案のとおり可決されました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第１２　発議第１号　芦北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

○議長（宮内道則君）　日程第１２、発議第１号「芦北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について」を議題とします。

本案について、趣旨説明を求めます。元山君。

○１３番（元山秀志君）　皆さん、おはようございます。

発議第１号、令和６年３月１３日。芦北町議会議長、宮内道則様。提出者、芦北町議会議員、元山秀志、賛成者、芦北町議会議員、林田燿宏、賛成者、芦北町議会議員、草野安道、賛成者、芦北町議会議員、楠原清照。

芦北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について。

上記の議案を、地方自治法第１１２条及び芦北町議会会議規則第１３条の規定により提出します。

地方議会議員の成り手不足解消の一環として地方自治法が改正され、令和５年３月１日から町に対する議員個人による請負が各会計年度において３００万円を超えない範囲で可能となりました。

これに伴い、芦北町議会では議員個人による請負の状況の透明性を確保するため、請負の状況を公表する条例を制定するものです。

提案理由につきましては、記載のとおりでございます。

この条例につきましては、全国町村議会議長会から示されました案を検討の上、第１条の目的から第５条の委任まで、必要な事項を定めるものであります。

なお、附則といたしまして、この条例は公布の日から施行し、令和６年４月１日から始まる会計年度における請負から適用するとしております。

議員各位におかれましては、御審議の上、賛同いただきますようお願い申し上げまして、説明を終わります。

○議長（宮内道則君）　説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　討論なしと認めます。

これから発議第１号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、発議第１号は原案のとおり可決しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第１３　議員派遣の件

○議長（宮内道則君）　日程第１３「議員派遣の件について」を議題とします。

お諮りします。議員派遣については、地方自治法第１００条及び会議規則第１２７条の規定により、お手元に配付のとおり派遣したいと思います。御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、お手元に配付のとおり、議員派遣することに決定しました。

議員派遣につきましては、やむを得ず、目的先、期間及び派遣議員について変更を生じる場合には、議長に一任願いたいと思います。御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、議長に一任することに決定しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

第１４　総務厚生常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第１５　建設経済文教常任委員会の閉会中の継続調査の申出

第１６　議会広報委員会の閉会中の継続調査の申出

第１７　議会運営委員会の閉会中の継続調査の申出

○議長（宮内道則君）　日程第１４から日程第１７までの各委員会の閉会中の継続調査の申出を一括議題とします。

各委員長から、お手元に配付の申出書のとおり提出されております。

お諮りします。各委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○議長（宮内道則君）　異議なしと認めます。したがって、各委員長から申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

○議長（宮内道則君）　これで本日の日程は全て終了しました。

会議を閉じます。

令和６年第１回芦北町議会定例会を閉会いたします。

－－－－－－－－○－－－－－－－－

閉会　午前１０時４９分

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

芦北町議会議長

署名議員

署名議員